臺灣日日新報
夕刊
十二月十一日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人　臺北市榮町四丁目卅五番地　佐々木
發行所　臺灣日日新報社
基隆市旭町（電話七八五）基隆支局
臺中市寶町（電話三〇七）臺中支局
臺南市錦町（電話六三〇）臺南支局
花蓮港街入船町　花蓮港支局
大阪市西區靭南通五丁目（ユタカビルディング内）大阪支局
東京市京橋區銀座西八丁目（[illegible]）東京支局

銘酒　楓白鹿

城壁の上から機關銃で掃射

航空隊も敵を猛爆

【光華門外十一日發同盟特派員】十日午後五時半激戰の後光華門を確保した脇坂部隊の一部隊は城壁を奪回せんとして夜襲を反復し來れる敵の大部隊との間に數次に亙る夜戰を演じ、伊藤部隊は飽く迄も一旦確保した城壁を死守して十一日早朝に至り多大の打撃を與へてこれを撃退し、午前九時半城壁上に機關銃を据付け更に數條の日章旗を朝風に靡かせながら城内の敵を掃射中、陸、海兩飛行隊もこれに呼應し城内の敵を猛爆中である

敵軍は催淚彈を使用

防毒面をつけて激闘

【光華門外十一日發同盟特派員】十日夜半より十一日早朝にかけて光華門の伊藤部隊正面に大逆襲し來つた敵は城壁を奪回せんと必死の勢物凄く、手榴彈、機關銃の外催淚彈を集中し來り我が將兵は直ちに防毒面をつけて應戰し、一時は非常な苦戰に陷つたが肉彈戰をもつてこれを撃退し輝かしき十一日の黎明を迎へたのであつた、この夜襲戰で斷末魔の敵は本格的毒瓦斯使用明瞭となつた

光華門の占領十日午後五時

（大本營陸軍部發表）

【東京十一日發同盟至急報】十一日午前一時大本營陸軍部發表―軍の一部は十二月十日午後五時南京城光華門を占領し城壁高く日章旗を飜へせり

敵前渡河、浦口に進撃

【ニユーヨーク十日發本社特電】日本軍總攻撃下の南京戰況に付きA・P南京特派員は十日左の如く報じてゐる

支那軍は日本軍の進撃を阻止する爲め依然砲火を止めず南京市街一帶は火焰に包まれてゐる、揚子江岸でも目下盛んに火の手が上つてゐる、日本空軍は軍官目標に向つて爆撃を開始、軍官學校は全く破壞された、余は城壁に急ぐ支那軍一隊の眞中に砲彈が落下し多數の死傷者を出した慘狀を目撃したが指揮官は直ちに殘りの兵を纏めて城壁に急行した、尚日本軍は既に揚子江を敵前渡河し浦口進撃に向つた

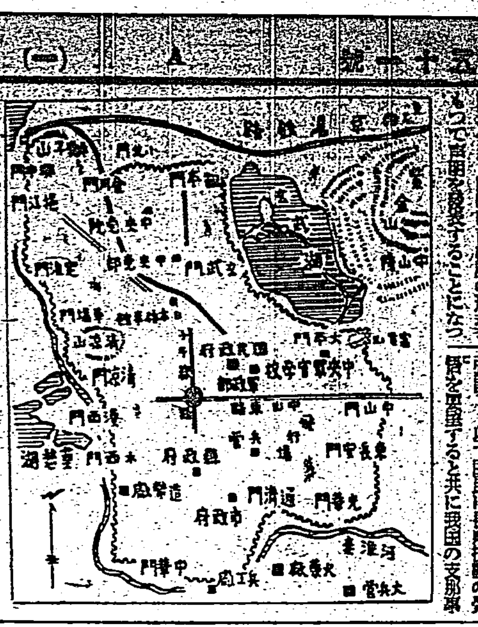
事變の終局の目的達成に邁進

南京陷落の公表と同時に不動の信念を闡明

【東京十一日發同盟】政府は南京陷落公表と同時に首相談の形式をもつて声明を發表することになつたが、右に於ては特に左の二点を强調し、以て國民に長期抗戰の覺悟を堅持すると共に我國の支那事變に對する不動の信念を中外に闡明することになつた

一、國民政府の首都南京が陷落したことは今次の聖戰に一大劃期を劃するものではあるが、事變は尚繼續するものと察せられるから國民は尚一層長期交戰の覺悟を固める必要がある

一、南京陷落に依つて蔣介石政權は地方政權に墮さんとし、東洋平和の確立を期する上において帝國の責任は今後益々重且つ大を加へるに至つた、帝國政府は此点を自覺し防共の見地に立つて事變の終局の目的達成に万遺憾なきを期する考へである



皇軍が突破した南京各城門

四部隊に感狀を付與

夫々上聞に達せらる

【東京十一日發同盟】大本營陸軍部十一日午前十一時三十分發表

上海方面に轉戰奮鬪しつつある左記部隊に對し松井軍司令官より感狀を付與せられ十二月十日夜夫々上聞に達せられたり

谷部隊、藤田部隊、吉住部隊、山室部隊

冀東電業公司十日創立總會

【天津十日發本社特電】冀東内にある群小電氣會社を一元的統制下に置く冀東電業公司の設立はこの程準備を終り十日その創立總會を灤山にて開催したが、該公司は資本金二百万元、四分の一拂込みでこの中冀東政府より二分の一、興中公司より四分の一、河北省方面より四分の一を夫々出資し[illegible]に置かれる

山西省

臨時政府樹立

十日太原で宣言

【太原十日發同盟】各縣代表等二十名及び要人數十名は十日太原に參集し山西省臨時政府の樹立を宣言し日滿兩國との親善提携、防共、滅黨の一大スローガンを掲げ斷然蔣介石政權の羈絆を脫し山西八百万民衆の安居樂業地の建設に邁進することとなつた

續々新政權實現

大名に治維會設立

【石家莊十一日發同盟】九日大名以下[illegible]地區の五十ヶ村の村長は大名に集まり同地に治安維持會を設立各方面に向ひ新政權樹立[illegible]宣言を[illegible]し大いに氣勢を擧げた[illegible]八日新政權の實現を決議した

菅原梅吉隊長壯烈な戰死

南京攻略に大殊勲

【光華門外十一日發同盟特派員】首都南京防衛の鍵ともいふべき紫金山を占領し南京城攻略に大殊勲を樹てた[illegible]部隊の菅原梅吉隊長は十日午前十一時三十分頃敵彈を受け紫金山頂を鮮血に染めて[illegible]つた、同隊長は[illegible]である

和田前司令官十一日離臺

軍司令部附仕に轉じた和田前臺灣軍司令官は十一日午前八時十三分台北驛發下り列車にて官民多數の見送り裡に離台した

【基隆電話】和田前司令官は十一日午前八時五十分來基、市役所、港務部、要塞司令部を訪問の後高砂丸に乘船した、台北より[illegible]並に基隆市民を初め多數官民の見送りがあつた

經濟界は明朗

法幣の下落は必至

【東京十一日發同盟】首都南京の陷落は事實上中央政權としての國民政府の顚落であり、日支關係の重大轉機を劃するものとして經濟界は著しい明朗色を示してゐる、即ち財界各方面の意見を綜合するに南京の陷落は軍事的、政治的に見るも既に蔣政權の地方化を意味するが、これを經濟的に見ても法幣の下落は今や必至であり、これに伴ふ民心の離反も漸次深刻化し國內の分裂は凡ゆる角度から見ても必然とされてゐる、從つてこれを契機とする北支に於ける自治政權の樹立、經濟工作の促進等には多大の期待がかけられるに至つた、經濟界としては今後の日支關係の重大なる轉換特に北支政權の具體的出現、中南支に於ける列國の動きに對して重大な關心を寄せてゐるが、抗日政權に對する徹底的膺懲と日支關係の根本的解決の爲めには不當なる第三國の介入は飽くまで拒否し反省した新しい支那との提携に依り日支共存共榮の途に邁進するを要望してゐる

支那財界は安堵

意外に早き暗雲の拂拭に

【上海十一日發同盟】支那財界では首都陷落を以て戰局の一段落を意味するものとして和平氣分濃厚となり、自國の敗戰をも忘れてこの時期の意外に早く到來したことを寧ろ歡迎してゐる、即ち保身法に長けた支那財界は既に今日を豫想して此に對處し自己保全策を完了してゐるので寧ろ種々の重壓から解放され暗雲の拂拭された安堵感の方が强いのであるが、唯茲に財界としての我國が占領地域に對し如何なる方針を以て臨むかが判明しないのと、次に生るべき新政權に對する豫想が付かないことで內外人ともにこの點に不安を抱き殊に外人は日本の軍事占領の固定化と[illegible]に懸れ局面の重大轉機に[illegible]關心を以て見守つてゐる

此の期に及んで尚もわるあがき

海外使臣に國府が訓電

【上海十一日發】在漢口外人側の消息によれば國民政府首腦部は海外使臣に對し最近歐洲言論界に於て蔣委員長の下野說が傳へられる由流布せられ、若くは南京脫出說傳へられるも現在下野すべき何等の理由なく又離京したることは事實なるも之れは全く軍要職務遂行の爲めなるにより列國に對し速かにかかる不利なる印象の一掃に努むると共に一層の活躍を要望する旨訓電を發したといふが、土壇場に追つても尚彼是言譯を構へて列國の同情を惹かんとする惡足掻を續けてゐる

上諭を拜す教育審議會

十日內閣に新設さる

【東京十日發同盟】多年懸案の全般的教育制度並に內容刷新振興に關する重要事項を調査審議すべき教育審議會は今般畏くも[illegible]となり右官制並に[illegible]、委員は十日の閣議に於て決定、即日官報號外を以て公布發令されたが教育制度並に內容刷新に關する諮問案は目下文部省において準備協議中で決定次第來る二十日頃迄には第一回總會を開いて本格的審議が進められる筈である、尚上諭は大正六年寺內內閣の臨時教育會議設置に際し拜して以來二回目である

上諭

朕文教ノ進運及中外ノ情勢ニ鑑ミ國本ヲ無窮ニ培ハンカ爲メ內閣ニ委員會ヲ設置シ教育ノ內容及制度ヲ審議シ其ノ刷新ヲ圖ラシムルノ必要ヲ認メ教育審議會官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

教育審議會官制

第一條　教育審議會は內閣總理大臣の監督に屬しその諮問に應じて教育の刷新振興に關する重要事項を調査審議す、教育審議會は前項の事項に付き內閣總理大臣に建議することを得

第二條　教育審議會は總裁一名及委員六十五名以內を以てこれを組織す、特別の事項を調査審議する爲め必要ある時は臨時委員を置くことを得

第三條　總裁は內閣總理大臣の奏請に依りこれを勅命す委員及臨時委員は內閣總理大臣の奏請に依り內閣に於いてこれを命ず

第四條　總裁は會務を總理す、總裁事故ある時は內閣總理大臣の指名する委員その職務を代理す

第五條　[illegible]は會議に出席して意見を陳述することを得[illegible]

第六條　[illegible]

附則

本令は公布の日よりこれを施行す文政審議會官制はこれを廢止す

委員[illegible]以下六十四名

その日その日

○南京城に閃く日章旗、ただ此の榮光の日のために、皇軍將兵の艱難と辛苦と……

○國民の感激、そして感謝――神社參拜の數も增す、增す

○蔣政權への否認は、東洋平和の爲めにも、支那の民衆の爲めにも絕對に必要な所以

○無辜の良民の安全も、赤裸も踏み躙つて顧みぬといふ、蔣・軍閥の[illegible]業の總決算がコレである

○嚙んで含めるやうな、東洋の仁義が判らぬ程の手合に、情け容赦はモウ無用らしい――

○支那に昔から、あの"破れかぶれ"さへ無かつたならば

時局の積極化に伴つて、各自の緊急と、併せてその國民の上に、認識の深さを持たねばならぬ

人事

▲加福均三博士　十一日來北（鐵道ホテル）

▲林行桂氏（日糖[illegible]所長）十日來北（吾妻）

▲古田邦辭氏（糖業試驗所技師）十一日來北（鐵道ホテル）

▲市川信敏氏（中研工業部技師）十一日內地より歸台

★……無絃琴……★

上海南市の一角に、佛蘭西人ジヤキノ牧師の提案によりジヤキノゾーン即ち支那人の特設避難區域が設けられてある、其區域內に唯一人の日本人として台灣の基督教青年會から派遣されて行つた近藤一郎主事が働いてゐた▲同君は派遣軍慰問の役目を濟してから此區域に入り避難民への給與や武器の沒收、救ひ出等に手傳つたが、此地には佛國側の軍警察が廿名、支那側世話人十名、外に探偵廿名で警戒に當つてゐる▲近藤主事も仕事の間に避難民と親しくなり、散髮をしてやつたり、やつて貰つたり、又佛國側や支那人世話役などとも親しくなつて記念の撮影を[illegible]たりしたさうだ▲同君が此特別區にあつて親しく多數支那避難民の模樣を見てゐると、どうも此の區では支那人から[illegible]依存の考へを一掃できさうも無いので其筋に對し日本の手で積極的に管理することを獻言もしてゐるさうだ▲[illegible]南市が何日落つるか"

の問題は、南京城の一角占拠の日を以てするのが一番適切であり、又事實それが多いとのこと、而して其の一角占拠は昭和十二年十二月十日午後五時で、右の旨は松井最高指揮官も認めて戰史を發し、大本營からも其旨公表してゐる。

浮標のごとき女

（161）

尾崎士郎作
梁川剛一畫

一年後（九）

「何でせう？」

どきつと後ろを振りかへつたとき、お若の小さい身體は何時の間にか田村の兩腕に抱き締められてゐた。

「驚くことはないよ、それよりも俺はほんとに君が好きになつてきたんだ」

「いいわよ」

お若は自然な身體の動かし方で、田村の膝にぐつたりと凭れかかつた。

「そんなお世辭を言はなくたつてわかつてゐるのよ、わたしはただあんたが來てくれさへすればいいの」

階段をせかせかと上つてくる足音が聞えた。田村の腕をくぐり拔けたお若が、やつと膝の上に坐り直したとき、

「呆れたね――階下ではあんな大騒ぎが始まつてゐるのに、まるでしんみりしちやつて」

白粉の剝げおちた女の顏が深い嫉妬に彩られてゐるのをみると、田村は急にげつそりしたやうな聲で言つた。

「武彦が暴れたんぢやないのかい？」

「だから、あんなに來て貰はうと思つて、何度階下から聲をかけたかわからんのに」

「さうか、ちつとも知らなかつた」

田村が降りて行くと、階下では上衣を脫いでメリヤスのシヤツ一枚になつた武彦が、苦しさうな呼吸をしながら後ろの壁に凭れかかつてゐた。

「どうしたのかね？」

田村が肩を叩くと武彦は、まだ醉のさめきらぬ顏をあげて

「ふざけてやがる。此方が下手に出てやりやあ、宜い氣になつてのさばりかへつてきやがる――も少し手應へのある奴かと思つたら、柔道二段が聞いてあきれるぢやないか」

「わかつた――君が急に暴れだしたんで、僕の方はすつかり醉がさめちやつた。早速一本つけて貰はうぢやないか」

田村が奥の方を向いて「酒、酒」と怒鳴ると

「止さうよ」

と武彦が苦しさうな声で遮つた

「もう、そろそろ歸らうぢやないか、おふくろが心配してるぜ」

「無論歸るには歸るがね、しかし俺にはまだ君に話すことが殘つてゐるんだ、とにかく今夜はもう少し飲まうぢやないか」

武彦も仕方がないので不精々々に腰を下したが、銚子が卓子の上に運ばれて來た頃には、田村は虛ろな眼でぼんやり空間を見つめながら、盃を取り上げようとしなかつた。

「何うしたんだい、君？」

武彦に背中を一つどやしつけられると、びつくりして眼をさましたが「ああ」と呻くやうな聲で唸んでそのまま卓子の上につつ伏してしまふのであつた。何かの機みで忘れようとしてゐた三重子の姿が、不意に彼の頭に泌ついてきた。考へてみると、俺は一體あの女に何度會つたといふのであらう

時々田村の記憶の中では、三重子の顏がつかみどころのないものに變つてゐる。

三重子がまだダンサーをしてゐるとき、暴力團の龜井に危く貞操を奪はれさうな形勢になつてゐるとき、彼の機轉で逃がしてやつたのが最初であつた。勿論そのとき田村は三重子に對してから何の氣持を持つ時がありうとは夢にも考へなかつた。やつと虎口を逃れた三重子が、慌てて車を降りるとき忘れていつたハンドバツクを、ホールの地下室にある食堂まで屆けに行つて會つたのが二度目であつた。三度目は、深夜の京濱國道で思ひがけなく拾つた女客が、彼女だつたのだ。田村の心は小田原の手前で後から來る車を待つ二時間ばかりの間を一緒に肩を並べて話し合つた記憶の中をうろついてゐる。闇の中から自分の心を見すかすやうに開いてゐた女の眼――三重子の姿は見えなくとも言葉だけがはつきり夜の闇に滲みこまれてゐる

爆發景氣！キング新年號三版出來
初版再版賣切れ
大書籍附錄!!
堂々四百数十頁の大合本
支那事變美談武勇談
（附・事變美談と解説）
內務大臣・陸軍大臣・海軍大臣 感激の序文執筆
全支戰線の美談武勇談、出征美談、銃後の美談、粹中の粹を集めたり石数十篇
事變の經過と日誌、事變語解說辭典を添ふ
是れぞ日本の寶！萬代不朽の記念書！勇武日本全家庭必讀の大名著
二大地圖附錄!!
新聞四頁分の特大判・色刷裝入り
最新支那明細大地圖
滿蒙ソ聯國境大地圖
皇軍の大進擊、國境の突發問題、すぐこいだ！と一目でわかる！役立つこと日本一の重寶大地圖！
面白く日本中熱狂大評判！キングの小說陣
浮名紅梅　川口松太郎
日本の妻　竹田敏彥
駒下駄道中　原　巖
犧牲の女　中村武羅夫
魔粧佛身　吉川英治
銃後そは屋合戰　サトウ・ハチロー
松林蝙也　山本周五郎
死の子守唄　延原　謙
浪華怪盜異聞　目黑麥男
兇賊の涙　甲賀三郎
非常時花嫁　鹿島孝二
醬油仁義　足柄三郎
大暗室　江戸川亂步
戰爭ごつこ　三遊亭金馬
薔薇競技　細田民樹
本町小町　神田越山
青春オリムピック　中野　實
乳房祭　小島政二郎
大感激の名記事
○荒木大將の戰爭經濟談
○鮎川日產社長出世物語
○評判果報者くらべ
○新年朗らか爆笑大會
外に大評判篇數十！
お求めは大急!!
賣く大雜誌 特價八十錢

皇軍の進擊振りに 天機殊の外御麗はし

南京總攻擊に大御心

【東京十一日發同盟】南京城門占領の報に沸き返る十日夜、宮中では天皇陛下には御政務御軍務を[illegible]せられて後御平常通り夕刻表宮殿から入御遊ばされ、內府、百武侍從長、宇佐美侍從武官長等も午後六時頃までに退下したが漏れ承はる所に依れば 陛下には大奧に入らせられて後も南京總攻擊に深く大御心を注がせ給ひ當直の四手井侍從武官、入江、徳川兩侍從等側近奉仕者に對して度々戰況を御下問あらせられ怒濤の如き皇軍の進擊振りにいたく御滿足あらせられ各城門占領の內奏を聞召されては天機殊の外麗はしく拜された由 承はる、畏くも 天皇陛下には去る七月の盧溝橋事件以後急遽避暑地葉山から還幸遊ばされて以來滿五ヶ月に亙つて夙夜御軍務に御精勵あらせられ生物学御研究は固より御運動、御乘馬をすら御取止めがちで只管時局の安定を御軫念あらせられたが其間も御健やかに亙らせられ遂に輝やく戰捷の夜を迎へさせ給うたことは眞に畏き極みで 陛下の御麗はしき龍顏を拜し奉つた側近者等の感激は一入であつた

今曉火燒島海岸で フーバー號坐礁

發動機船全部出動し 波浪冒し救助に努む

【臺東電話】十一日午前一時頃臺東廳火燒島中寮海岸に一外國船が坐礁し目下盛にS・O・Sを發し救助を求めてゐるが臺東郵便局で接受した無電によれば右は米國船プレシデント・フーバー號（二一、九七〇噸）で四百五十名の船客と多數貨物を積載してをり神戶よりマニラに向けて航行中進路を誤り遭難したものらしく火燒島では今朝夜明けと共に島內碇泊の發動機船全部を出動し折柄の强風と高浪を冒して救助に努めつつあるが何分にも二萬噸からの巨船で作業は頗る困難な模樣である【寫眞はフーバー號】

船體の半ば岩礁に

船客は上陸を見合す

【臺東電話】火燒島海岸に坐礁した遭難船プレシデント・フーバー號に付きその後に達した情報によれば遭難地點は北緯二十二度四十分、東經百二十一度二十分の同島の中寮と公館の中間にして陸地より約五丁沖の岩礁に船體の二分の一を乘り上げてゐるが救助に出動中の發動機船も波高くして近寄れず陸地との連絡不能で救助作業に非常な困難を極めてゐる模樣である、尙火燒島派出所では干潮を利用して同船と連絡をとり一應船客を上陸せしむべく努めてゐるが船側では間もなく救助船が來着するとて上陸を見合せゐるとのことで主なる船客名などは今尙不明である（午前十一時）

濃霧の爲め遭難か

遞信部海事課の判斷

遞信部海事課では臺東郵便局からの詳報により左の如く情況を判斷してゐる、なほ、台灣から直接的に救助船を出すかどうかについては外事課及び領事館との間に協議中で午後二時頃迄には何等決定をみなかつた

フーバー號の坐礁した地點は遠淺がズッとつき出した所でその突つ鼻である、きつと濃霧のために遭難したに違ひあるまい、發動機船が救助に赴いた由であるがせいぜい二十噸以下の船だから貨物及び四百五十人の客を救助するのは浪も高いやうだし大變な事だ、通りかかつた高雄の貨物船プロイセン號（八千噸）がS・O・Sを聽いて現場に走つた由だが、香港、マニラ邊とも盛んに連絡をとつてゐるやうだし、或はもう救助計畫が出來てゐるかも知れず、要するとしては領事館から依賴があれば今夜又は明早朝高雄及び基隆から七千噸級の船を出すが今のところそれは未定である、あの船は頑丈に出來てゐるから餘程酷使をさせられなければ浸水をみるやうなことはないのだが察するに急速度で思ひ切つて乘り上げ可成大きな損傷を蒙つたものに違ひない、マニラからは僅かに五百哩だから若しマニラから救援船が來るものとすれば一晝夜半位で到着する

鳳山丸救助に急行

米國領事館では十一日午後二時頃正式に總督府外事課を通じて救助方を依賴した、右により遞信部では基隆碇泊中の鳳山丸を至急準備せしめ午後四時基隆水上署長、遞信部海事課打狹技師其他が乘船し四百五十名の船客救助に急行した

水上署救助法を攻究

【基隆電話】フーバー號救助に關しては基隆水上署にても種々救助方法を攻究して[illegible]同船は[illegible]マニラを經て[illegible]に赴く途中らしく[illegible]の東三方面に於ける[illegible]總噸數約二万五千、[illegible]頃の[illegible]

本島人側から慰問金募集

【新竹電話】出征軍人並に軍夫家族慰問扶助の徹底を圖り後顧の憂ひをなからしむる為め全島各地に於て出征軍人軍夫家族に對する慰問金を募集してゐるが新竹州從業員許延熙同張式穀外十二氏の發起の下に十日午後三時城隍廟會議室に市內本島人有志五十餘名の參集を求め軍人並に軍夫家族慰問扶助に關し協議を行つた結果來る十五日までに市內本島人方面のみより二千円以上の慰問金を募集することとなり直ちに募集に着手したが既に五百餘円を醵出した

女性の眼に映じた上海②

困苦缺乏に堪へて 先づ馬を勞はる兵士

日本國民たるを喜ぶ

戰跡を見學しまして感心した事は日本軍の砲擊の正確さです、あの市政府でも表門から破壞する事は將來役立てる時困るからでせうか、皆んな裏手の方許り砲擊されてゐてその砲擊も殿下には及んでゐないのです、彼處など殿上を一寸直したら直ぐ立派なお役所になる事でせう、現地後方で一番心打たれた事は泥まみれの日本の兵隊さんが汗と土にまみれ

軍馬 と共に困苦缺乏に堪へ幾多の困難障碍にめげず絶えず前線と往復されてゐますが確か大場鎭へ行つた歸途でした、兵隊さんが馬を引張つて前進されてゐましたが丁度休憩される時、自分達の疲れはさし置いて先づ馬から荷を下し丁寧に優しくいたはつて居られた御樣子には全く涙が出ました、物こそ云はね疲れた馬にこの思ひやり、馬も喜ぶでせう人馬一體となつてのこの働き、ここに日本軍の

强さ もあるのでせう、如何にも日本人らしい氣持が一杯ではありませんか、支那人一般の日本人觀はこの事變で如何變つたかは存じません、ただ南京路あたりをブラついてゐる支那人を見れば私達も憎らしい感がします、支那人もさうかも知れません、然し外出の際二、三見かけた支那人の貧しさ、苦茶の老婆が荷物を背負つて避難先から歸つて來る姿を見た時は可哀想な感じがしました、同時に戰敗國にはなりたくないと思ひました、我社の報道特派員にも會ひました、丁度私達が上海到着早々通信の最前線から歸つて御出でになりましたので早く會へたのです、とても御元氣で面白い事ばかし仰言つてゐました、ただ一つ御盛さんが

沁々 私達に云はれた事は『戰爭には飽くまで勝たねばならない、戰へば必ず戰勝國にならねば駄目です』と云ふ事です、戰敗國のみじめさをつくづく目擊されたからでせう上海も今年はとても寒いんです、例年十一月と云へばポカポカと暖かいとても氣候の良い時ださうです、それが今年はガラリと變つて了つたらしいんです、雨が降り續く、寒さが身に沁む、その寒さも普通の內地や台湾で味はう寒さぢやあございません、身内がゾクゾクする樣な氣味の惡い寒さなんです、それに食物だつてホンの

空腹 を滿たす為に食べる樣なもので美味い不味いは問題の外です、私達は歸りに長崎に上陸するや否やお壽司屋に飛び込み後でもあれこれと食べ物店が目について仕樣がなかつた位です、上海の市中でさうです、まして前線ではどんなかと思ふと向ふでは文句は云へません、こんな困苦缺乏と闘つて前線の兵隊さん達は奮戰されてゐます、前進また前進の輝かしい勝利を收められてゐます、南京陷落も目前でせう、私達はこの度の慰問で沁々味はつた事は大国民たるの有難さです、日本国民たるの

幸福 さです、平常何氣なく此方での生活をしてゐますとその有難さが仲々ピンと來ませんが現地に接して始めて日本国民たる事の偉大さ有難さが良つく判ります之が私達のこの度の慰問から得た尊い結論とでも申しませうか（寫眞は大場鎭にて）

白雪を踏んで 街頭に躍り出す

日滿市民一齊に萬歲

【新京十日發本社特電】南京總攻擊の皇軍各城門を占領すとの上海軍公表は十日午後九時頃新京に達した、この快報を今や遲しと待構へて居た三十万市民の耳に勇壯なサイレンが鳴り響いたのはそれより一時間後の十時である、この瞬間市民の歡喜と感激は最高潮に達し零下十五度の酷寒ものかは、白雪を踏んで街頭に飛び出した日滿市民は期せずして万歲を唱和、その聲は南京陷落かん許りであつた、十一日は新京で協和會が主催となり市民祝賀提灯行列を大々的に行ふ

松元特務兵の慰靈祭

きのふ高雄稅關で

【高雄電話】高雄稅關では十日午後四時より旅具檢査所內にて稅關出身の名譽の戰死者松元特務兵の慰靈祭を執行坂口稅關長副祭祀部長以下稅關員及び市內官民五百餘名參列盛儀であつた

銃器を拐帶し 保安隊が逃亡

給與に不滿、匪賊化

【香港十一日發】福建省[illegible]附近に駐在してゐた支那保安隊の一團數十名は兎角給與の遲り勝なるに不平を抱き先日所持の機銃、步銃、彈藥等を拐帶したまま江西省境に近い山村に遁入した、例の如く何れ匪賊と化して官憲と良民とを困らすことであらう

南京突入の第一報著

歡聲沸き立つ三宅坂

【東京十一日發本社特電】抗日の總本山南京は遂に我が手に落ちた十二月十日午後五時脅威迫る南京城の城壁高く日章旗は翩翻と斷末魔の業火に狂ふ敵の首都に林立したのだ、十日午後一時松井最高指揮官が總攻擊の命令を發してより僅か四時間決河の勢で城門內に殺到した皇軍部隊の神速振りは三宅坂でも豫期しないほどだつた、午後七時過に號外の鈴の音が混亂しラヂオは臨時ニュースで『南京陷落』を傳へ街々に『万歲、万歲』の歡聲が爆發した折柄陸軍省新聞班では佐久間中佐が屬官給仕を總動員して各方面に喜びの情報を傳へるのに大童、第一報を待つてゐた記者達が『お目出度う、お目出度う』と新聞班に押しかける、大本營報道部林中佐も座談會を中止して『實に早かつた』と馳けつけ、『公電あり次第發表だ』と大声で叫ぶ、A・Kは直に歷史的發表を錄音する為め技師を記者室に派遣し陸軍省の門前は早くも報道陣の自動車で一杯だ、この夜午前零時愛國婦人會[illegible]分區の赤坂フロリダのダンサー二十名が小雨を衝いて自動車で陸軍省に乘りつけて提燈行列のトップを切る、斯くて午前一時待ちに待つた上海軍よりの南京突入公電第一報が大本營に到着林中佐は發表文を鷲摑みにして陸軍省の廊下を驀らに記者室に現れ朗々と發表文を讀み上げこの歷史的情況は完全にレコードに收められた

觀城、范縣、東昌に 猛爆擊を敢行

【〇〇十一日發同盟】黃河を越え南方に潰走する敵に對し連日猛爆擊を加へてゐる島谷部隊は十日午前十時三十五分河北、山東兩省境なる觀城に屯る敵約百名に對し爆擊を加へ、島田部隊は同十一時三十分范縣（觀城東方二十粁）の敵を爆擊し、又山下部隊は東昌（大名東北方六十粁）に敗殘兵の集結してゐるのを發見爆擊し多大の損害を與へた

掃蕩工作進捗

【石家莊十日發同盟】山東省西部を掃蕩中の我が〇〇部隊は十日朝冠縣（臨清南方十里）[illegible]の要地を確保し十日午前十時頃其の先鋒部隊は[illegible]（冠縣南方二里）[illegible]（臨清南方十[illegible]里）[illegible]の地點に進出した、敵は破竹の如き急追に退却[illegible]走した

午前九時出勤

臺北州警務部

十月一日の時差實施以來、全島警察職員の執務時間は、午前十時出勤午後六時退廳と改正せられたが、是に關しては時差實施の眞精神を沒卻し、實情を無視した改惡との非難高く、警察內部に於てすら其の不合理が叫ばれてゐた程であるが、斯くては執務上事務能率にも影響する處大きなものがあるので台北州警務部では豫てより警務局宛執務時間改正方を上申中であつたが、愈々十三日より州下全警察職員は一時間くり上げ午前九時出勤、午後五時退廳と決定した

本年度納會

武德會

大日本武德會台灣地方本部は十八日午後一時より植物園の演武場で武道納會を舉行する由

少年劍道大會

國民精神

國民精神總動員の一事業として台北州では十二日午前十時から植物園內武德殿に於て第一回少年劍道大會を開催する

濱名湖印
HSK
うなぎ蒲燒
年末年始の御贈答に
濱名湖畔
濱名湖食品株式會社

日本精神の眞髓を 童心に傳へたい

阪神中華公學校長の歸來談

【神戶十日發本社支局特電】夏休みに歸つたままとなつてゐた阪神中華公學校長劉振民氏は九日、[illegible]から歸つて來たが語る 日本軍の强い手で明朗北支が建設せられつつある時一日も早く歸任して童心を通じて日支提携の實現へ邁進、新生支那の姿を童心に傳へ皇軍から學んだ日本精神の眞髓を傳へ度い

富士丸入港

【基隆電話】富士丸は十一日午前十一時名古屋[illegible]入港した、船客[illegible]名[illegible]者は加福均三博士、[illegible]技師、台灣遞信部員[illegible]であつた

加福博士談 大學の[illegible]に來た、十[illegible]要に樟腦の[illegible]セン化学に關する[illegible]だ、東京の研究所の方も着々準備は進めてゐるが何しろ原料材が高いので困つてゐる

市川技師談 東京で開催された第五回植物[illegible]者會議に出席したが出席者四十八名何れも専門家許りで之と云つて別にないが色々會員から有益な研究發表があつた、要するに技術の研究と副產物の利用法に用途と云つた樣なもので樟腦に關する世界文獻の蒐集翻譯、樟腦及副產物の分析法等相當大きな仕事であり、樟腦關係としては樟腦削り屑に壓力を加へて油をとり其のかすをパルプの原料とすると云つた發表位のものであつた

【基隆電話】同船で十一月三十日朝基隆を出帆した日本水產の發動機船第一朝日丸が其の翌日正午頃大洋の眞只中で折柄の暴風雨のため沈沒し[illegible]船に助けられた船長田原留吉氏（[illegible]）外六名の乘組漁夫が門司から上陸歸台した

啤酒會を廢し 祝賀に贈る

【基隆電話】事變以來何等報いらるるところなく陰ながら各方面に活動してゐる在鄉軍人、防衞團を慰勞すると共に南京陷落の際は大に祝杯を上げて喜ぶべく又忘年會には非常時局克服の元氣を養つて貰ふ為專賣局基隆出張所では例年の啤酒會を廢して其の費用に相當する酒を贈るさうであるが、時局柄一石二鳥を狙つた面白い計畫である

茶業座談會

【新竹電話】新竹州紅茶同業組合では最近ロンドンより歸臺せる台北市の[illegible]製茶株式會社專務取締役[illegible]氏を招聘し十三日午後二時より新竹市[illegible]に於て州下茶業同業者の參集を求め茶業座談會を催すと

紅色二錢の 郵便切手

十五日賣出す

既報新發行の輪飾と初日の出を圖案とした紅色二錢の郵便切手は、台灣においても來る十五日より全島一齊に發出すこととなつた、前回の年賀用切手は一月一日以後でなくては使用できぬことになつて居たが、今回のは發賣當日の十五日からあらゆる郵便物に使用しても差支へないといふのが從來と違つて居る點である、勿論來る二十日開始の特別扱年賀郵便に使つてもいいわけで現品は既に十一月下旬到着全部郵便局へ配付濟みである、その總仕入數は七百万枚で、昨年の富士山圖案の同切手六百万枚、本年の二見ケ浦切手の五百五十万枚に比し相當多くなつて居るが、その印面には人を惹きつける明か味が多分にただようて居るので、全仕入數の消化も早いだらうと當局は見て居る

全製茶業者を 網羅する組合

新竹州で計畫

【新竹電話】昭和十年創立を見た新竹州紅茶同業組合は州下紅茶業者のみを包含してゐるが新竹州下は紅茶に限らず烏龍茶包種茶のみならず綠茶を合する生產高一ヶ年一千万斤に達する全島一の產地である為め右紅茶のみの同業組合ではその統制並に茶業界發展を阻害する嫌がある為め今回州下全製茶業者を網羅する新竹州製茶同業組合と改正すべく目下總督府に向け申請中で近く認可されるものと見られてゐる

日曜講演 西本願寺では十二日午後七時半から西本願寺會館に於て後藤、岩田兩師の講演がある由

あすの天氣

臺北地方	東の和風曇時々雨
北部地方	東の疾風曇時々雨
東部地方	北の和風曇小雨
西部地方	北の和風曇時々雨
南部地方	北の和風曇時々雨

今晩の映畫

◆國際館 正十二時三十分上映
1 魔人逃走曲 午後六時〇分
2 パパを尋ねて [illegible]
3 朝日世界ニュース [illegible]

◆大世界館 正十二時半上映
1 砂漠の朝 午後六時〇分
2 樂園の合唱 [illegible]
3 東日パ社ニュース コロンビア・タイム 支那事變特報 [illegible]

◆新世界館 正十二時半上映
1 雄叫び挺身隊 午後六時〇分
2 パ社發聲ニュース 日支事變ニュース [illegible]
3 靈原將軍 [illegible]
4 後藤又兵衞 [illegible]

◆タイゲキ 正十二時半上映
1 御守殿お町 午後六時〇分
2 惡魔の人形 [illegible]
3 東日大朝ニュース [illegible]
4 さらば戰線へ [illegible]

◆芳乃館 正十二時三十分上映
1 浪人大將 午後六時〇分
2 東日大毎ニュース支那事變 [illegible]
3 お洒落侠艶 [illegible]
4 男の道 [illegible]

會葬御禮
松本信次

◎事務員臨時採用
年齡二十歲前後中等學校卒業程度
◎女事務員採用
高女卒業程度（但シ交換手ノ經驗アル者[illegible]）
希望者ハ履歷書ヲ[illegible]
臺北市明石町二丁目六番地
千代田生命保險臺灣支部

虎ホーム
眞珠の效用
當家祖先苦心の結晶になる眞珠製眼科光明散は、天然の眞珠を極めて細微なる粉末として配合調製した目藥で日々氣持の惡いトラホームの顆粒を消散し其爛眼・逆睫・流涙や眼々の不快症狀を悉皆除いて治します[illegible]トラホームの為角膜に眼が入り涙が出來て視力障害を起す危險を防ぎますカマツ毛の發生を防ぎます 其他內障眼・夜盲症・風眼等一般眼病の解決にも異色の效顯があります點眼方法は至極容易で大人小兒の別なく何時でも御使用出來ます
一匣分一円也 三匣分二円九十錢 五匣分四円五十錢 一匣約七日分
送料實費
京都市五條大橋西
本家 山本治兵衞
電話下六八一・大阪一三七

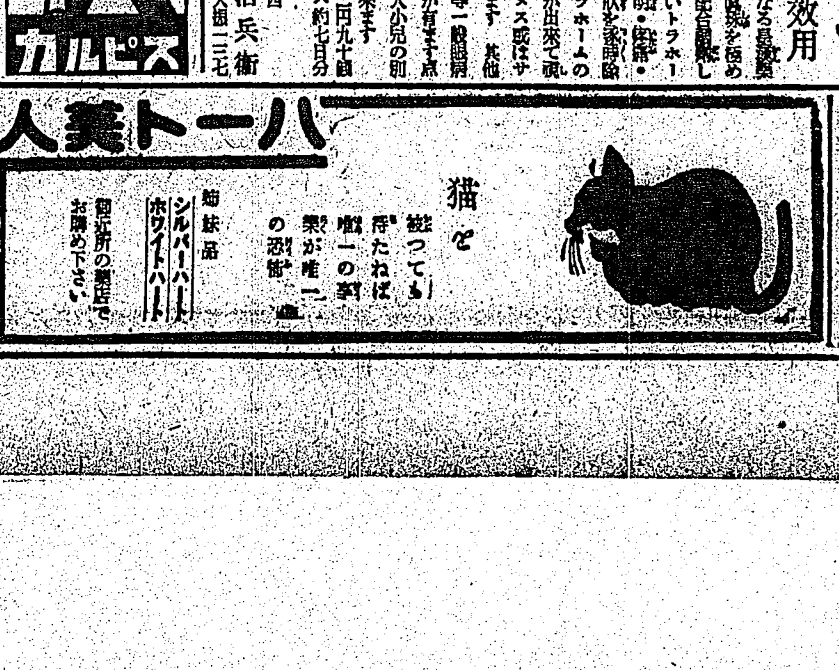
ベートーヴェン
作品六十七 ハ短調
運命
第五交響曲
好評絕讚!
メンゲルベルク指揮
アムステルダム
コンセルトゲボウ管弦樂團
十二吋四枚アルバム入解說書附 13.50
キングレコードの洋樂
日本テレフンケン

男女とも毒をうけたらすぐ[illegible]氣持よく排泄す
毒掃丸

南國特產
ボンタンアメ

愛國文藝
大演曲
この母を見よ
大放送て……
三百萬の聽衆を泣かしめた
同題の名盤!
天中軒雲月 吹込
テイチクレコード

滋強飲料
姙婦の榮養
カルピス


ハート美人
猫を被つても
待たねば
唯一の對策が唯一
の恐怖
姉妹品
シルバーハート
ホワイトハート
御近所の藥店でお求め下さい

品質第一
シオン
アスピリン
感冒 頭痛 齒痛

我儘な子供に多い『ひきつけ』の原因と手當

寄生蟲がわいてる時もひきつけることがある

子供のある御家庭で是非知つておきたいことは、小児急癇、俗にいふ『ひきつけ』に對しての常識とその手當です。子供の顔色が急に変り、全身を棒のやうに突張つて、目は瞬きもせず一箇所を見詰めたまゝ、氣絶したやうな形になります。やがてこの緊張状態がゆるむと、ウト〳〵眠る場合が多いのです。中には五、六時間もひきつけたまゝになつてみることもあります。

◇

この小児急癇は色々な原因から起りますから、その起り方で手當も多少違ひます。しかし、一般にこの『ひきつけ』だけで子供の生命を奪はれるやうな事は決してありませんから両親が吃驚仰天して顔面に頭に水をかけたり、大声で呼び、揺ぶるやうな事をしてはなりません。

◇

多くの場合、先づ第一に静かに寝かせて帯を解き、着物をゆるやかにしてやります。さうして、先づ浣腸して便を出し、若し熱があれば頭を冷し、手足が冷たくなつてをれば、湯タンポを入れてやります。舌を噛むやうな心配のある時は、割箸に脱脂綿を巻いて、歯と歯の間へ噛ませておきます。

◇

興奮し易い我儘な三、四歳の子供で、自分の思ふやうにならぬと酷く泣いて、そのまゝ『ひきつけ』を起す習慣のあるやうな場合の手當は、着物をゆるめて、冷たいタオルを胸元へのせ名を呼んだりする中、やがて正氣に返りますが、之は躾の悪い我儘な子供で、我ままに育てられたやうな場合に起るのですから、なるべく野菜類を澤山食べさせ、平素から優しく根氣よく懇々として教へ導くと同時に、その體質の向上を計らなければなりません。

◇

この病氣は、脳に故障が出來た為に起るのではなく、疫痢、肺炎、チフス、敗血症などのやうな急に高い熱の出る病氣に罹つた場合、大人なら急に悪寒がしてガタ〳〵震へて顔色が変つたと思ふと突然熱が卅九度から四十度にも昇りますが、子供の場合には、先づこの『ひきつけ』を起し、それから発熱すると急に高熱が出るといふ場合が多いのであります。又、手足が物にはさまれて非常に痛かつた瞬間とかお腹に寄生蟲がわいてゐる時など、その痛みや刺戟の為に急に『ひきつけ』を起す場合もありますが、これは三、四歳の子供に一番多く、六歳位になると自然に減つて來るのが普通であります。

◇

この他に、もう一つ神経性體質の子供（この體質は両親から遺傳します）の中には、我まゝで、一寸自分の思ふ通りにならぬとすぐ腹を立てて『ひきつけ』る習慣の子供がありますが、その療法はやはり前にいつたやうに致します。

この『ひきつけ』を豫防するには、急に高い熱の出る病氣に罹らぬやうに用心すること、突然強い目に會はしたり、寄生蟲病に罹らせたりしないこと。神経質體質の子供は食物と育て方導き方などに注意して、その興奮し易い體質を建康なものに改めて行くやうにしなければなりません。（竹内醫學博士）

主婦ノート

火…はねる炭の使ひ方

木炭を火鉢に入れるとパチ〳〵とはねてこまるものがありませう。かうした種類の炭はすぐくべずに火鉢のわき、火から少し離した灰の上で温めてからおくべ下さい、決してはねません。この理由は、炭の多孔性によるので、つまり空氣を吸つてる孔が多い炭をくべると、炭の中の空氣が熱せられて、ぱちぱちしてはねるのですから、これを温めてから火にのせるなら空氣は急に熱せられないのではねないのです。又炭は皮のついた方を内側にしてくべるとはねません。これも右の炭の多孔性の強弱によるものです。以上の理窟を知つてゐるなら、炭がはねてこまるよ！と炭屋を叱らなくてもすむわけです

御存知ですか

書物ケースの利用

書物はカヴアをかけて、チヤンとケースに入れて、本棚なり、本箱に並べておくのがよいのですが、たくさんの書物の中にはケースだけ残つて中身の失くなつたものもありませう。

そのケースは捨てないで机の向ふや押入れの中に立てておき、メモの紙、スクラップ・ブックに貼るまでの切抜き、返事を要する手紙など、整理するまでのものを假に入れておくのに使ふと便利です。

煙草の銀紙と空箱

煙草の銀紙は捨てないで、まるめるなり罐などに入れてためることですが、空箱も捨ててしまはずこれを集めておいて、鉄瓶敷や子供の紙細工に工夫すると却々面白くて有益です。ある小学校の一生徒は、レッドの空箱を編み合せて立派な敷物を作つたのが、さる展覧會に出品されてゐましたが、利用範囲は廣汎でせう

榮養豊富な蠣のお料理

蠣は寒さと共に美味しくなりますが、蠣には燐や鉄分、カルシユーム、グリコーゲン等の榮養分が含まれてゐますので、之を逃さない様に頂くのがよいのです。この点に注意したお料理二三を申しあげませう。

蠣のフライ

材料（五人前）蠣大二十五個、玉子の黄身一箇分、レモン半箇、メリケン粉、鹽、胡椒、揚油

拵へ方 蠣をざつと洗ひ、水氣をきつておきます。メリケン粉大匙九杯を丼に入れ、水大匙七杯を加へ、箸で二三回軽く混ぜ合せ鹽少々を入れ、玉子の黄身を溶いて混ぜ入れて衣を作つておく。フライ鍋に揚油を入れて火にかけ煮立つてきた時、蠣に衣をつけて入れ、狐色に揚げて、新聞紙か、又は金網の上にとつて油をきります。皿に五箇づつ盛りレモンを輪切にして添へ、食卓に出します。

注意 蠣は水氣をよくきつておかないと油がはねて火傷をすることがあります。両面から乾いた布巾で、軽く押へると水氣がとれます。揚油はすぐに頂くならば、ヘット又はラードを用ひると美味しく、揚げて長くおく場合は胡麻油を用ひると美味しい。

蠣のシチユー

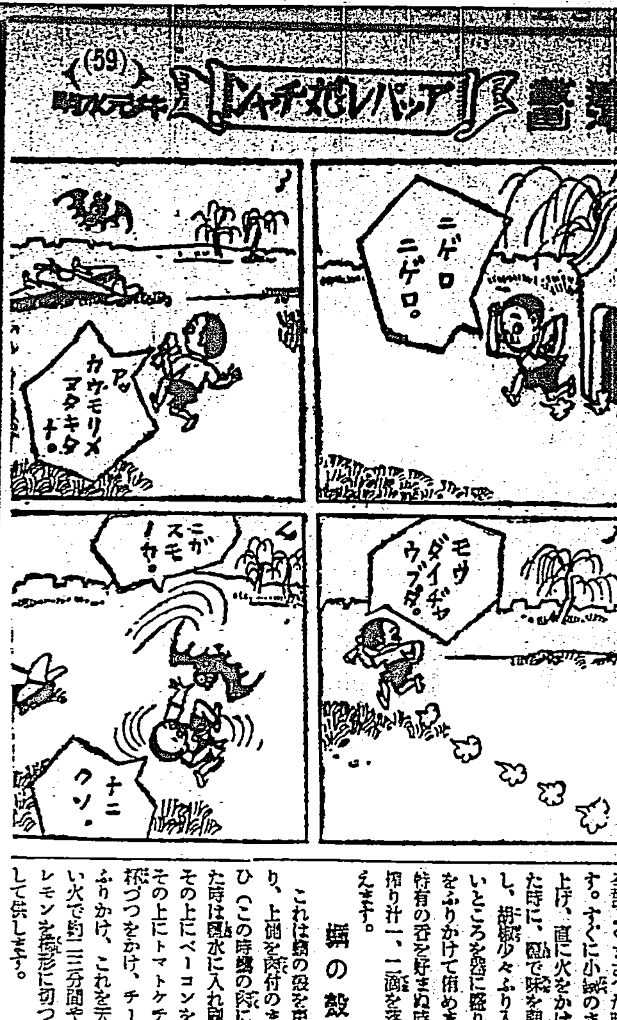
上品で淡白な風味を持つお料理です。滋養に富み、老人や病人などによいものです。

材料（五人前）蠣二十五個、パセリ少々、牛乳二合、メリケン粉大匙一杯半、バタ大匙一杯、鹽大匙一杯、胡椒少々

拵へ方 蠣をざつと水洗ひして水氣をきつておき、パセリはミヂン切にしておく。二重鍋があれば用ひ、なければ鍋に湯を沸しその中に小鍋か瀬戸引鍋を入れて温め、バタ大匙一杯を入れてとかし、メリケン粉大匙一杯半を加へてよくまぜ合せ、牛乳を徐々に加へて全部よくまざつた時に蠣を入れます。すぐに小鍋のまま湯から引き上げ、直に火をかけ一二度煮立つた時に、鹽で味を調へて火から下し、胡椒少々ふり入れます。あついところを器に盛り、上にパセリをふりかけて備めます。もし、蠣特有の香を好まぬ時には、生姜の搾り汁一、二滴を落し入れると消えます。

蠣の殻焼

これは蠣の殻を束子でよくこすり、上側を肉付のまゝとつてしまひ（この時蠣の肉の際にかけらがついた時は鹽水に入れ刷毛でおとす）その上にベーコンを一切づつのせ、その上にトマトケチヤップ小匙一杯づつをかけ、チーズをおろしてふりかけ、これを天火に入れて強い火で約二三分間やき、皿に盛りレモンを櫛形に切つて、附合せとして供します。



六畫伯肉筆傑作 五百幅限月賦分譲

肉筆傑作品を汎く國民の手に

ハガキ一本で前送二ケ月拂ひ

人が金銭を投じて、一幅の繪畫を求めようとする心持は、凡て愛好である。これを愛好し、床の間にかけて打眺める心境ほど尊いものがあらうか。されば、眞に尊い人格の表現にあることは云ふまでもない。本會はさきに、繪畫報國の念止み難く、日本畫壇の中堅の雄と許り、その作品頒布會を起して、我美術界の一大驚異たらしめたことは、此の美術愛好者の熟知せらるる所である。この國家的非常の時に際し、幸ひにして、本會の壯挙が、豫期以上の盛況を以て迎へられたことは、誠に感謝の外なく、往時月の岩に笛吹いた武將の故事にも似たる優雅なる大國民の襟度の現れとして、深い感動を禁じ得ぬ次第である。本會は、ここに更に一段の飛躍を以て、邦畫壇の中堅の六畫伯の傑作を前回同様の方法により頒布しいよいよ、繪畫報國に向つて、邁進せんと欲するものである。只特記したいことは、本會はその揮毫畫伯の推擧にあたり、技術の優秀と同時に人格の高潔なるの士を以て第一とすることである。世に本會に追随するもの、なしとせざるも、この点に限つて何人も眞似ることの出來ぬものとして深く自負する所以である。美術愛好者各位！絶好の機會を逸せず即刻お申込みを乞ふ。

頒布規定

方法 御希望の方は左の六大畫伯十七点の肉筆傑作の中御好みのものを御選び御指定の上ハガキに御住所氏名御職業を記入捺印の上申込下さい

作品 は何れも極上尺五寸巾絹本美麗なる三段假表装仕立上り總丈六尺七寸横一尺九寸

金額 五百幅限十圓也（揮毫料及絹地代假表装代荷造運賃郵税他一切）

支拂方法
第一回現品着荷後 金五圓也
第二回 翌月 金五圓也

申込所
東京市小石川區大塚町三十八番地
中央美術頒布會
電話大塚(86)二三二八番
振替東京七四六九六番

從三位勲四等男爵野田俊弘閣下肉筆御製謹書（極彩色入念肉筆密畫 尺三絹本三段假表装）

文展二回入選 芝景川畫伯謹筆（仕上り六尺五寸横一尺七寸）

勅題『神苑朝』 伊勢大神宮之圖 明治神宮之圖

前貴族院議員從三位勲四等男爵 **野田俊弘（本名龜吉）閣下略傳**

故從二位勲三級男爵野田豁通氏ハ我國最初ノ陸軍主計總監トシテ陸軍經理ノ基礎ヲ築キ日清戰役ノ偉勲ニ依リ特ニ功三級金鵄勲章ヲ賜ヒ華族ニ列セラレタリ 俊弘閣下ハ明治十三年四月二十九日豁通男ノ息ニ生レ父君ノ嚴格ナル訓陶ノ裡ニ人ト成リ学習院ヲ經テ帝國大学政治科ヲ卒業後二三年實業會社ノ重役ニ推サレテ敏腕ヲ揮ヒ大正二年一月父君ノ後ヲ繼ギ男爵正四位ニ叙セラレ大正七年貴族院議員ニ選バル資性温厚学識多才夙ニ政務ノ傍日本美術殊ニ書畫ノ普及ニ努力セラレ斯道ノ為貢献セラルルハ世人ノ周知スル所ナリ

文部省美術展覽會二回入選 **芝景川畫伯小傳**

畫伯ハ京都賀茂神社、社家鳥居大路恕平ノ男ニ出テ同社家芝之家ヲ繼グ姓ハ賀茂氏名ハ興平字ハ徳號景川別ニ南是柳柴ノ號アリ 明治七年五月東京ニ生ル、明治二十四年帝室技藝員今尾景年畫伯ニ師事ス 美術團ノ公職『日本畫會幹事』『明治畫會幹事』『竹之台茶話會代表會員』『正派同志會評議員』『美術館建設同盟會委員』『日本美術協會展覽會審査委員』『明治繪畫會審査委員』日本美術協會明治繪畫會其ノ他ノ出品ヲ高貴ヨリ御買上ゲノ榮ヲ受ケシ事數回、文部省美術展覽會（文展）二回入選

中堅五画伯肉筆傑作月賦分讓

千田大寛畫伯肉筆

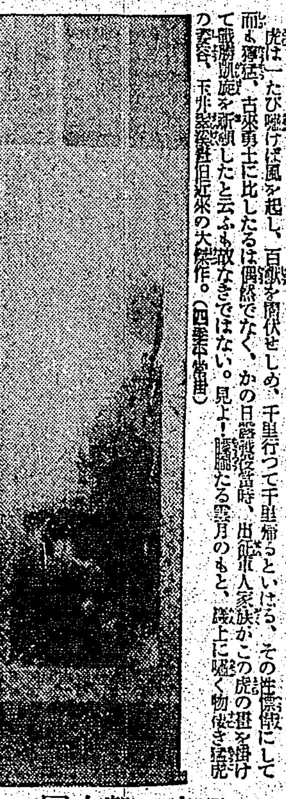
富士の圖中本圖の如く近景に富士を浮き立たせて山村を描いた作品は少い。秋の初めでもあらうか山は未だ青い。谷に臨んだ一軒の農家を描いて前景に危橋を渡る農夫を配したる畫風は純寫生に出發した大寛畫伯の特色淡彩の畫趣、墨色縦横の妙なるはよく畫題を生かし得て妙近來の傑作である。

秀峰富士山水之圖

水墨淡彩入念肉筆密畫尺五絹本三段假表装 仕立上り縦六尺七寸横一尺九寸

玉井翠溪畫伯肉筆

虎は一たび嘯けば風を起し、百獸を屈伏せしめ、千里行つて千里帰るといはる。その性標悍にして而も猛猛、古來勇士に比したるは偶然でなく、かの日露役當時、出征軍人家族がこの虎の畫を掛けて戰勝凱旋を祈願したと云ふも故なきではない。見よ！朦朧たる雪月のもと、巖上に嘯く物凄き猛虎の姿を。玉井翠溪畫伯近來の大傑作。（四季床間當用）



猛虎一聲之圖

極彩色入念肉筆密畫尺五絹本三段假表装 仕立上り縦六尺七寸横一尺九寸

村田秀玲畫伯肉筆

孔雀は文禽の王と稱され、瑞鳥にして吉祥の額として有名である。殊に雄鳥は金翠特に麗しく、孔雀王の稱ある秀玲畫伯の全力を打ち込んだ彩管は、かの壮麗なる中に氣品を現し、あたりを照する概は蓋し近來の壮觀である。（祝儀・正月用・平常用）

不老長春孔雀之圖

極彩色入念肉筆密畫尺五絹本三段假表装 仕立上り縦六尺七寸横一尺九寸

高畑大生畫伯肉筆

旭日に松竹梅、それに配するに端鶴連々たる一双の鶴を描いた本圖は、誠に瑞祥延壽の趣に充ちあふれた絢品である。松は四時翠深く、千年の齢を保ち、鶴は又、高潔比にして長壽の仙禽なり、本品よくその境地を捉へて、見る者をして、千古の松聲、雲外の鶴鳴の羽ばたきをきく思ひあらしむ

延壽松竹梅双鶴圖

極彩色入念肉筆密畫尺五絹本三段假表装 仕立上り縦六尺七寸横一尺九寸

中村蕉畝畫伯肉筆

松竹梅に旭日の出、天空に翔る、地に年経たる一匹の亀、春の海辺に出て、空に仰ぐ高砂の時と姿は、実に長寿、和楽の理想的表現である。一家に此あらば必ず祝詩としてこれを掛けるは、我朝古よりの床しき風習の一つである。本圖は蕉畝畫伯得意の彩色として、温かな静寂たる気分の出た新鮮豊かな作品

高砂延壽之圖

極彩色入念肉筆密畫尺五絹本三段假表装 仕立上り縦六尺七寸横一尺九寸

帝展派の中堅 千田大寛畫伯

畫伯は富山縣高岡の人、夙に帝展派の巨匠荻谷龍岬畫伯に師事す専ら寫生の研究に努め天稟の詩情と高尚優美なる畫風とは畫伯獨特の境地を成し遂に帝展第三回に入選す（風景桃の春）畫伯愈々餘裕綽々著しき進境を示し他日の飛躍を窺ふに足る

花鳥の名手 高畑大生畫伯

畫伯 東京京橋に生る、天資畫技に長じ十五歳にして帝展審査員故荻谷龍岬先生に師事し研修怠りなく同門中其の俊鋭なる神技は頭角を現わし、日本畫會中央美術等の各畫會に出品入選數十回に及ぶ山水に動物に往くとして可ならざるも殊に双鶴を描いては天下一品洗品ある作品は斯道愛好家の好む所以なり

四條派の名手 玉井翠溪畫伯

畫伯は新潟の人、幼より畫技を好み、天才的神技は俊鋭なるものありしと云ふ長ずるに及び帝展の無鑑査たる一方の雄將尾竹竹坡に學び、師の元に數年、遂に斯道の奥義を究め得意とする所は花鳥に動物に山水に往くとして可ならざるなしと雖も、殊に動物を能くし、就中、虎を描いては天下一品毅然として凡庸の追随を許さず、丹青界稀に見る良心的作家なり、

花鳥畫の名手 中村蕉畝畫伯

畫伯茨城の人、二十歳にして上京畫壇の巨匠荒木寛畝先生に師事刻苦研鑽多年、遂に斯道の蘊奥を極む、畫伯常に名利に恬淡、各展覧會に入選受賞數十回に及ぶ、人物畫に於ては天下一品毅然として凡庸の追随を許さず、畫壇稀に見る人格者なり。

文兆派の中堅 村田秀玲畫伯

畫伯は千葉の人二十歳の時上京文兆派の巨匠に師事研鑽多年、師の畫道を一身に受け同門中第一と稱さる日本繪畫研究所を創設、後進の為に盡す所あり。花鳥を最も能くし殊に孔雀を描きては殆ど神品として他を壓し、その神技は畫壇を風靡しつつあり。東都畫壇の重鎮にして既に帝展の榮位にあり。

寒さ

怖ろしい感冒の猖獗期

かぜねつ

婦人冷え込みの

治療と豫防に

今スグ守妙を御常用下さい！

豫防に用ふれば全身の血行を良くし、新陳代謝を旺んにして、冷え込み、感冒を防ぎ、身も心もポカ〳〵と温かく、治療に用ふれば優れた發汗、解熱、整腸の作用によつて、速かに症状を輕快ならしめる獨特のキキメがあります。

●こんな時すぐ守妙を！

ぞつと寒氣を感じた時
四季感冒流行性感冒
急に發熱 咳の出る時
足腰冷込を感じた時
婦人冷込血の道の時
疲勞倦怠頭痛のする時

定價 二十錢 五十錢 一圓 二圓 三圓 五圓

絶對に中毒の恐れなき

純和漢藥

守妙（モリミヨウ）

賣元本舗 守田治兵衛 東京・大阪

○全國各藥店にあり

たんせき
ぜんそくに

藥効優秀—

受難の冬です、効目に定評ある立効丸を是非御用意あれ！

獨特のシヤブリ藥！

立効丸（リツコウグワン）

（定價）二十錢 三十錢 五十錢 一圓

本舗 守田治兵衛

各藥店にあり

新發賣 クリーム
A一般用（男小供も）
B荒れ性用 各60錢
Cファンデーション化粧下80錢

これは、みな世界的に有名だけど、粉白粉をつけた顔を顕微鏡で、かうして、比べてみると その中では…

フランス○○○

さすが、だれでも知つてゐる代表品は分子も細かいし、いつたい、きれいだ。が…、まだ、こんな黒點が少しある。

これがヒフをそめる「生の色素の塊」なんです。

パピリオは

黒點も一つもない。が、それより、まるで分子が根本的に違ふんです。

だから仕上つた肌が…、粉のふいた様なのと比べて下さい。

一度ぜひ薬局の顕微鏡で比べて下さい。

パピリオ

粉白粉十二色
口紅八色頬紅十二色

F.17

コドモの
ねびえ
かぜに
オイン

寒さの襲來が初まりました 頭髪を守りませう

ランランポマード

國定忠次 (129)

（赤城颪）

長谷川伸作
岩田専太郎畫

暗殺（四）

その後、子馬が中心で、稲荷の仙三と、もう一人の股旅、岩田の成松の二人を頭に、忠次の動静を探りに探くらせ、油断に乗じて暗殺し、他國者の犯行と、人目を晦ますための準備までで用意して、機會のくるのを待つてゐた。

國定一家は以前と違ひ、勢力が加はり加はつたので、忠次の身内は、伊勢崎、桐生、前橋とどこへ行つても、一家の光りに浴してゐるのが十分過ぎによく判る。

「親分さんに楯を衝くな」

と、いふ忠次の命令を犯せば処罰がある。

「親分さんの顔は潰へ」

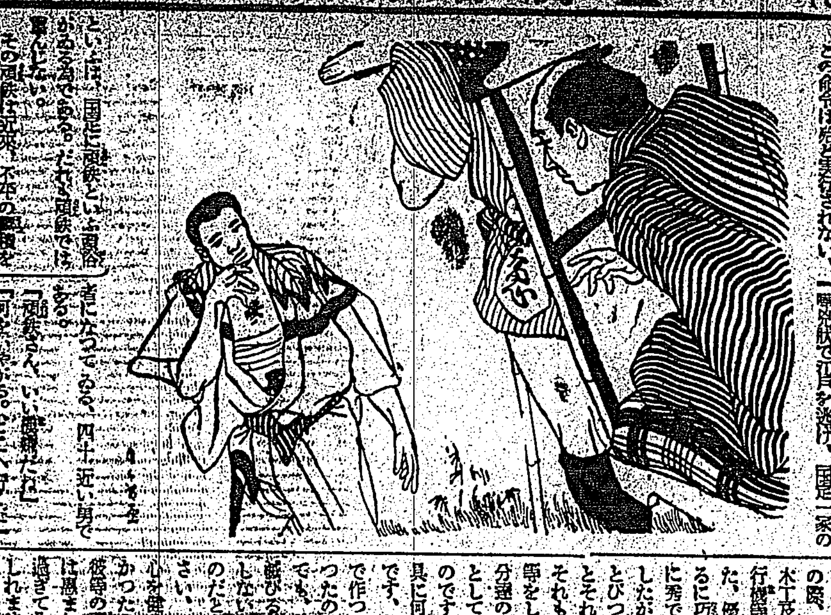
これに背けば卑怯者といはれる。

「めいめいに渡世を持つてくれ」

この命令も七八分は実現した。

「出先で、善悪の見分けが付きかねる事があつたら、神主さんか坊さんに聞け」

この命令は殆ど実行されない。



といふは、国定に頑鉄といふ悪俗がゐる為である。だれも頑鉄では重んじない。

その頑鉄は兇状、不平の鬱積を酒に紛らさうとし、金があれば伊勢崎なり桐生なりで酔つてゐる。

頑鉄は陽気な上戸だ、けふも桐生の街を酔つて歩いてゐる。

「おウいおウい、そこへ行くおばあさんよ、おらが歌文やるだ聞いて行かねえか。おウいおばあさん、ばあさんといふにおばあさん。ちエツ、そんなに気味悪がるな。それツ、どンどン逃げて行くだ。やい馬鹿婆ア、われよりおらが方で余つぽど気味悪いだ」

怒つてゐるのでなく笑つて、傍を通る人の見境なく話相手に、

「これ、さうぢやねえかお龍さんよ、おらがいふ事に間違ひなかツぺさ。さうだねえ、おら、口の中に鋼あるだか、あのおばあさん口の中に隠れね。鍋のなか探したつて矢つぱり隠れね。だら、何処さ落したらあるかといふと、どこにも隠れねえ、ねえばかりでねえ、大きにあつた、大國屋さまの処にの」

話相手はとつくに去つてゐないで、頑鉄が話相手にしてゐるのは蚕種屋の十蔵の荷車である。人が四方で見物してゐると一段と上機嫌になり、

「はあア、馬が風邪ひき嚔さしたよ、ヒヒンヒヒンと嚔をしたよ。スッチャカホイスッチャカホイ」

それから間もなく伊勢崎街道を悪い声で、調子外れに唄ひながら歩いてゐた。

「はあア、酒さ飲みたい銭さがねえよ、酒の出てゐる井戸ねえか。スッチャカホイホイ、スッチャカホイホイと。はあア——」

桐生を出外れて、街道をご機嫌の頑鉄が、調子に乗つて盆踊りの手振り足どり、他人が見ればみるほど、調子に乗つて浮かれてゐる午後のことである。

と、後ろから一人、近づいてきた中の客が首を覗かせ、

「あれッ頑鉄さんだ」

その声に気がついたのでなく、丁が気を利かせて立停まつた、それで頑鉄は気がつき、

「よウ、お前か」

頑鉄の客は影岡小助といつて、[illegible]で江戸を逃げ、國定一家の者になつてゐる、四十近い男である。

「頑鉄さん、いい機嫌だね」

「何をいやがる。どこへ行くだ」

「桐生まで親分の使ひでね」

「親分が桐生へ行つたの？」

「さうぢやねえ、親分の使ひでね、お徳さん処へこの俺が行き、今夜のうちに国定へ帰るのさ」

「さうかおいら文蔵さん」

「文蔵さんぢやねえ、俺は小助だよ。雑ぜかれえ頑鉄さん。若い衆さん、追つてくれ」

駕籠が行きかけるその後から、

頑鉄は手招ぎして千鳥足。

「待つた待つだよ。おウい、文蔵さん、おらも行くだ、桐生へさ。なあ文蔵さん」

「仕様がねえな、ひどく酩酊つてゐて。若い衆さん構はねえ逃つてくれ」

その晩、往きとおなじ裏道に乗つて小助が、国定へ帰る途中、先年、千両箱ッ人が飛脚と馬方の二人を殺した向野へかかると、道端の草を割つて、次々に飛びだしたものがある。

戰爭と玩具

童心に與へる反映

玩具は子供の遊び道具であると簡単に定義することはやめませう。玩具は文化のバロメーターであると云ふ人もあります、子供の玩具から大人への玩具にその本質を遡元しようとしてゐるのが最近の玩具のやうです。玩具を一つ手に持つて見ても、どうしても童心が感じられないものが多いのが事変玩具です

それで玩具界の大御所、有坂與太郎氏に玩具と童心のお話を願ひました

◇

私は嘗て北海道を旅行し、長い傳統の中に静かに滅びゆく日を見守りながら生活してゐるアイヌ民族を訪れたことがありました、その際、私は彼等の子供達のために木工及び金属製の汽車、電車、飛行機等をお土産に持つて行きました、優れた彫刻のある工藝品を作るに巧な人を父に持つ、巧な刺繍に秀でた母を持つ彼等ではありましたが、非常に喜んで私の玩具にとびつきました、そしてあれこれとそれをいぢり廻してゐましたがそれも極く短時間でした、何が彼等をしてさうさせたか？即ち自分達の生活限界にないものを玩具として子供らしい興味を持てないのです、実生活に離れてゐない玩具に何らの興味が湧かなかつたのです、彼等は粗末な竹の笛、或は木で作つた丸木舟の方が生活的であつたのでせう、この事実から考へても、私は、玩具を持たぬ民族は無いといふ言葉を想起します、玩具が發達しない民族は滅亡への途上にあるのだと考へます、支那をごらんなさい、一つとして童心に觸れ、童心を健やかに培ふやうな玩具がなかつたのです、その結果が今日の彼等の姿です、この点我國の子供は恵まれてをります、いや恵まれ過ぎてゐるために禍があるかもしれません

◇

子供の玩具は大人を仲介しての玩具です、大人の流行で一度濾されたのが現在の子供の玩具です、子供の玩具が大人の意慾の反映であるといふこの説に矛盾はないでせうが、この矛盾が玩具を發達させる動力なのです、即ち日本玩具の代表的な羽子板、雛人形などこれらすべて子供の玩具でありながら、しかも、今日見る藝術品に近いものに完成されてゐるではありませんか、大人の嗜好が子供の玩具に加味されて來た一つの現はれでせう、遊び道具であるならば何も押絵の羽子板でなくてもよい筈です、即ち仲介者としての大人がここにあるわけです

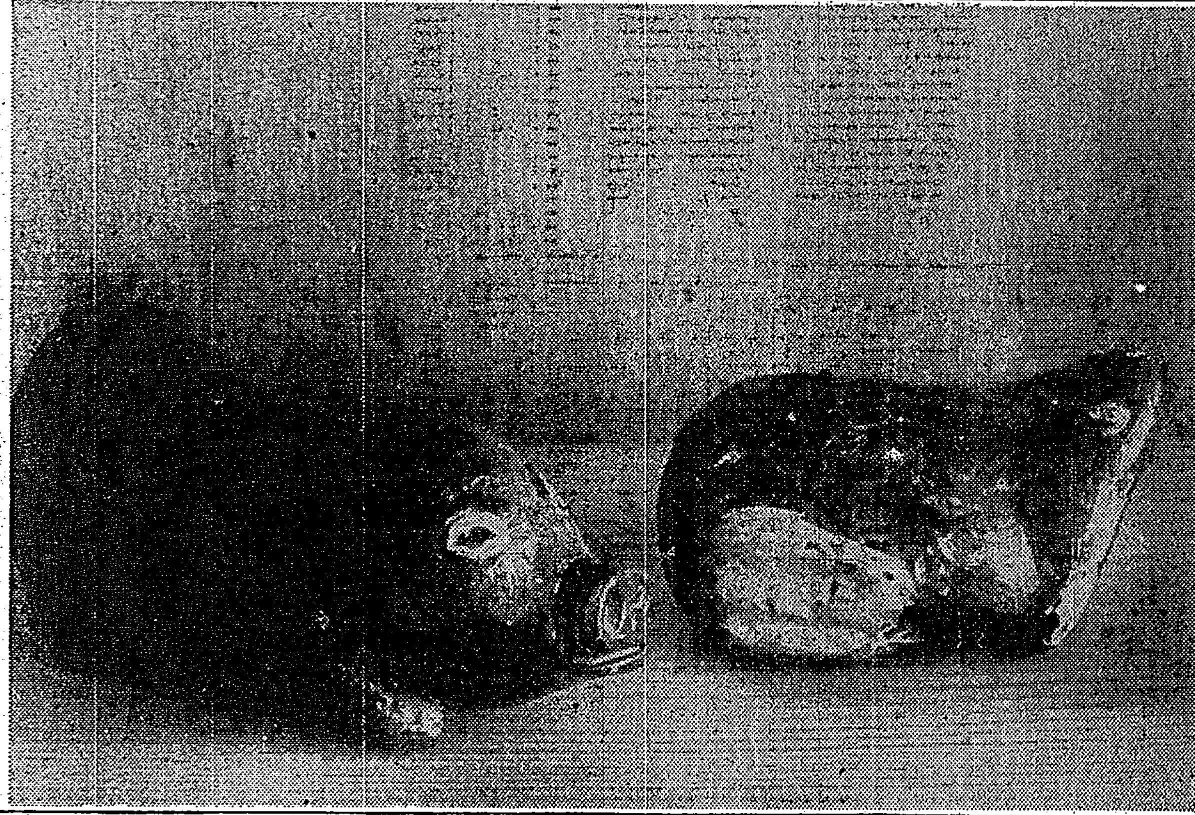
◇

今度の事変が子供の玩具にどう反映してゐるかといふ問題も、この流れを度外視しては判断出来ない筈です、今日、玩具店の店頭や百貨店の玩具賣場に立つて子供の玩具を見ますと、子供が喜び、とびつきたいやうな衝動に駆られるものは僅少です、他は流行をつくる大人の意向の現はれである戦争玩具です、極めて手のこんだ高射砲、機械化されたタンク、子供がどう扱ひ、どうそれを楽しむのかしらと考へるものが多いのです、けれども大人を仲介とする玩具はこれであつてよいわけであり、子供が真に心の底から欲しいと思ふものは、彼等自らの手で作りますそれが本當に子供達の生活に必要な玩具です、クレヨンで紙に日の丸を描き、ボール紙に色を塗つて肩章を作り、空罐を背嚢に作るのです、かう考へて来ると果して今次の事変が子供の世界にどの程度まで反映してゐるでせうか、私は戦國の鎌倉以降の子供達が軍馬に跨がり颯爽と戦場に馬を駆る武士を真似、子供達が山から竹を切り出し、笹の葉のついたままを戸外に持運び、その竹を股にはさんで野山を走り廻つたといふ當時の子供達の味はつた程の戦時気分はないのではないかと思ふのです、大人の與へる戦争を反映した玩具で子供達はどれ程満足してゐるのでせうか？

カナ文字ニュース

△南京ヲ ハウキ シタ ワガ軍ハ 十日夕方 南側ト 東側ノ 各城門ニ カンゲキノ 日章旗ヲ カカゲ 先頭部隊ハ 城内ニ ツキ ススンデ 敵軍ト 市街戰ヲ シテキマス

△日支事變ノ 初メゴロ 支那ノ 飛行機ニ バクゲキ サレタ アメリカ汽船ノ プレシデント フーバー號（二萬一千九百トン）ハ 十一日午前一時ゴロ 臺東廳ノ 火燒島中寮海岸デ ザセウ シマシタ



友邦・暹羅の人形玩具展より

昨年開館された板橋常盤臺の日本唯一の西洋人形玩具博物館では今年は友邦シャム國修好五十周年祝賀の為に先年同氏が渡暹の際蒐集した同國の人形玩具類二百餘點をこの程整理し新館に陳列、十一月二十六日、二十七日の兩日特に一般に公開した、我が國とシャム國との友好は遠く山田長政に始まり、東洋の独立國として修好を結んで五十年になる、國狀、風俗等我が國と共通した點が多く、ことに人形玩具を通して見る時は却々興味深いものがある【寫眞は子供の貯金箱、左から豚、蛙など奇抜なもので、これらの動物は象と共にシヤムで大切な動物とされてゐるからです】

演劇報國の猿之助父子

國際劇場上演「加納部隊長の最後」出演の猿之助は先月末從軍、北平さらに上海戰線を視察し故加納部隊長の跡を弔ひ四日午後一時五十分羽田空港着歸京した【寫眞は猿之助（左）と段四郎（右）】

今週の映畫

嵐の翼

RKO映畫　十一日より國際館上映

ピーター・B・カイン原作小説をリユウ・ランダースが監督し航空の映畫で定期旅客機の安全性を興味深く強調したもので東京飛行會館で特別試寫會を開いたといふ作品、物語はポーランド聯合航空會社のパイロット、ワッドはエアーガールのケイと良きコンビである、が、新任パイロットの社長の息レンが飛込んで來てからまづい空氣となりワッドは退社する、嵐の或日、レンの乗つた飛行機は氷結して危険に瀕しレンはパラシュートで飛降りたが開かずに墜死し、残されたエアーガールはガソリン缺乏と戦ひつつ女ながら不時着を決心する、急を知つたワッドは山中に焚火をし無電で瀕死の機體を操縦し無事着陸せしめるといふスリルを描いてゐる、サリイ・アイラース、ロバート・アームストロングの主演

他にシャーリイ・ロス、珍女優マーサ・シイの主演するパラマウント明朗篇「[illegible]」と「新しき土」のファンク博士の愛児ハンスが父を尋ねてドイツから日本へ來り滞在中のスナップを「新しき土」の名カメラマン、ワルター・リムルが撮影し松井翠聲が解説した微笑ましき短篇映畫「パパを尋ねて」が併映される

釣

△基隆　雨の後な小雨が降り續いて居るが旭橋附近で面白い程中鰺丸鰺が釣れる餌はたまし

△淡水　港口一合よめく川口附近で大物のスズキ、上もく脂ののつたチヌが釣れ、平時がよく釣れ出した

△山子脚　水口合よく此の儘天候があがればハヤ釣りにはもつて來い

△新店　今の所すみ口合はよいが此の儘雨さへあがればハヤ釣りにはよからう

△大溪、角山　雨續きで波は高いがミツボシが白波にのつてグッとやつて來る

[illegible]

豐年　魏清德

[illegible]

張鏡洲

[illegible]

擬陣中寄友　雪宙

[illegible]

述懐　駱鷹秋

[illegible]

其二

[illegible]

其三

[illegible]

其四

[illegible]

商況（十一日）

臺灣正米市場前場

▲二期蓬萊米　當限 二、三二　中限 二、四二寄 四四止 四五高 四六安 一八車　先限 [illegible]

▲二期丸糯米　十二月十五日限 [illegible]　十二月二十日限 [illegible]

▲二期蓬萊米　中場 [illegible]

▲二期丸糯米　十二月十五日限 [illegible]　十二月十一日限 [illegible]

基隆在庫米（十一日朝現在）

一期蓬萊米　五二五袋　二期蓬萊米　一七、八二八　二期丸糯米　四八二　二期丸糯米（到着米）　一九一車（二、五一五袋）　一三四、九一三

大阪期米前場

節	當	中	先
一	三五、一〇	三四、七三	三四、八五
二	一〇〇	七七	八六
三	一〇〇	七五	八八
四	一〇〇	七六	八六
五	一〇〇	七六	八八
六	一〇〇	七七	九〇
七	一一	八〇	九三
八	一四	八一	九五
九	一七	八五	九七
十	一四	八三	九五

東京期米前場

	當	中	先
寄	三四、七四	三四、七〇	三四、八一
引	四、九九	八六	九五
高	五、〇〇	八八	九九
安	四、七四	七〇	八一

神戸期米前場

	當	中	先
寄	三四、五〇	三四、〇九	三四、〇七
引	四八	一一	一四
高	五五	一一	一四
安	四八	〇六	〇〇

東京銘柄

蓬萊米　丸糯米　[illegible]

東京銀行賓株

[illegible]

東京國債前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京長期總取組

當限 四八九、八三〇株　中限 七〇六、七四〇株　先限 六八九、三四〇株　合計 一、八八五、九一〇株

東京日歩（二日分）

新東 八十錢　日商 四十二錢

大阪短期前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

大阪砂糖清算前場

[illegible]

大阪砂糖現物

[illegible]

大阪人絹前場

[illegible]

臺北案内

書籍
最近 支那大地圖（價七十錢 送料三錢） 臺北榮町一 振替臺北一二 新高堂書店

內地土産
ポンカンと白柚 臺北本町三 電五貳壹參 矢野商店
名物 芭蕉煎餅 下江商店 榮町三ノ九 電話二九二六
ポンカンと白柚 臺北市榮町 桐田商會 電3653

樂器
山葉オルガン 月賦販賣 臺北市榮町三 日本樂器會社

時計眼鏡
和田はメガネ專門 臺北本局前商銀通り 電六壹五〇番
メガネ專門金光堂 學生優待 兒玉町 電話貳九五八番
メガネ專門日光堂 臺北市表町二ノ一〇 電四九五七番
小川メガネ店 榮町三 菊元向通

藥種商
肺炎で御困りの方は先づ一服 試されよ特效藥アンチゲン 臺北南門 藥局 電三二五六三番
喘息には ワンカ 服んで直く效く 北市榮町四ノ二 發賣元 森田[illegible]
吸入用酸素 電四九六七 臺北市第2世界館前 中央藥局
ぢ痔 鍼漢藥製痔疾祕方 臺北市日新町一丁目 承堯氏痔藥製造元 王源遠商行

洋服
鐵道購買部特約店 チトセ洋服店 臺北市大和町 電二四七二番
オーバ、トンビ 高級既製 京町二 青柳洋服店 電六五八六
新着 子供服 臺北 日進マーケット
皇民化の服地は大和洋行へ 臺北市太平町三

料理屋
壽司天ぷら 魚文 都通り 電話五壹八
料理仕出し 辨金本家 電話五四〇五番

世帶道具
無煙風呂釜 二井商會 臺北市本町二ノ一 電話四七六

金融
電話金融 商品券 質入 築地町一（電貳〇參八） 旭屋文店
金融 官公署員方に 臺北市京町二ノ一七 電五參九六番
月賦定期 金融 若竹町二丁目 七福商事合名
小口月賦 金融 官公署の御方に 西門市場 朝日商會 電河九參七

寫眞
8ミリ 小型映畫時代來る コダック續々入荷 臺北市榮町 西尾商會
カメラと材料 フタバ寫眞機部 臺北市榮町二 電話七〇〇貳番
カメラ中古品高價買入 臺北市京町一 南光寫眞機店
現像・燒付は二宮へ 京町一丁目 電話六〇五〇番
寫眞機と材料 定價表無料進呈 臺中市錦町三 東郷堂

ラヂオ器械
ラヂオ十ケ月月賦販賣 商銀隣 鈴木電氣商會 電四一三九
ラヂオ十ケ月月賦販賣 明石町丹ノ丸電氣商會 電二六二〇
ラヂオ十ケ月月賦販賣 樂天地大東電氣商會 電五一二四
ラヂオ十ケ月月賦販賣 鐵道通り 南工商會 電五六七一
ラヂオ十ケ月月賦販賣 郵本局前 高砂無線商會 電二三九四
ラヂオ十ケ月月賦販賣 商銀隣 松田電氣商行 電二三二五
ラヂオ・蓄音器 月賦販賣 兒玉町末廣商會 電貳參四參

雜件
特選御贈答品 大陳列 村井 全店品質色柄型の超努級
風味の良い 平戸の摺味噌
各種ベニヤ 床板床張材料專門 町二ノ十一 兒玉材木店 電二四五〇
フスマ張替 實費で致します 末廣町二 電四三九〇 高見表具店
熊崎式姓名學 運命鑑定 大正町九條通 日本易學協會員 金永
軍用犬訓練引受 四頭まで 臺北市大和町四ノ九 南方莊
全オートバイ サービス ステーション 臺北進輪モータース 電二五六二番
應接セット 卓子一椅子二 參拾五圓より 京町三丁目 電二五〇三 杉本家具
行列用提燈 上奎府町一 吉原玩具店 電四八八〇
行列用提燈 上奎府町一 吉原玩具店 電四八八〇
行列用提燈 上奎府町一 吉原玩具店 電四八八〇

專賣特許
ウイジニン配劑
皇國錠
他店で絶對眞似の出來ない藥！
特約店急募申込あれ
大阪市浪速區惠美須町四
岩國挽仁堂
臺灣の氣候常食に鑑み
日露記念〇〇丸を改良し
數倍の効力を有す

ひえ 吹出 悪性 ニキビ 潜伏梅毒 たむし 毒一切
毒掃丸
重症用 二円 三円 五円 十円 廿円
普通の毒掃丸 五十錢 一円 二円 五円

ぢんぞう病には
佐藤ライトの西瓜糖

VEGELINE
毛髪養料
ベジリン香水
斯界に多大の信用と愛用者を有する
フケ、及びカユミを去り
脱毛を防ぎ常に艶美を保ち
全く用後爽快無比也
各百貨店、和洋品店、化粧品店、藥店にあり
東京市日本橋本石町二ノ二
本舗 リーガル商會

ねんまつ・ねんしの
御贈答用に
美味滋養
白玉ホワイトワイン
となたにも喜ばれる
純良白葡萄酒
本品は絶對に人工着色をせず
醸造元 江井ケ嶋酒造株式會社 兵庫縣

何はともあれ！
頭痛にはノーシン！

湿布にエキホス
純國産品
感冒、肺炎、氣管支炎、
咽喉カタル、肋（膜）膜炎、扁桃腺炎、神経痛、ロイマチス、腰痛、火傷、歯痛、百日咳、その他すべての炎症性、疼痛性疾患にエキホスを塗布すれば、局所の血液循環を佳良にし、充血、疼痛を軽減し、腫脹を去り、滲出液を吸收す。湿布の如く手数を要せず、一回の塗布にてよく長時間効力を持續す。
包装 一〇〇瓦 二五〇瓦 五〇〇瓦 二瓩
全國信用ある藥店には必ず「エキホス」の備品あり

臺灣日日新報
本日夕刊共二十頁
夕刊定價一部一錢
編輯兼發行人　佐々木　[illegible]
臺北市榮町四丁目貳番地
發行所　臺灣日日新報社
基隆市旭町（電話七八五）基隆支局
臺中市寶町（電話[illegible]〇七）臺中支局
臺南市錦町（電話[illegible]〇）臺南支局
花蓮港街入船町　花蓮港支局
大阪市西區靭南通[illegible]丁目（ユタカビルディング內）大阪支局
東京市京橋區[illegible]丁目（[illegible]館內）東京支局

烏江鎭に上陸し
南京を完全に包圍
唯一の血路を遮斷され
六萬の籠城兵袋の鼠

（蕪湖十一日發同盟至急報）九日當塗を占領した長野、山田兩部隊は十日夜陰に乘じて一擧に揚子江を渡り奇襲をもつて北岸に上陸し十一日拂曉烏江鎭の敵を急襲しこれを占領更に息つく暇もなく省境を越えて江蘇省に進入し目下〇〇方面に向け猛虎の勢をもつて進擊しつつありこれがため南京籠城の敵が唯一の血路と恃んだ最後の退路も茲に遮斷され南京の敵約六萬は完全に我軍の包圍下に落ちた

總進擊命令下る

【上海十一日發同盟至急報】南京城壁に殺到した我が第一線各部隊に對し十一日午前十一時城壁或は城內に蟠踞し頑强に抵抗を繼續中の敵を一擧に粉碎すべく總進擊命令が下された

紫金山から一齊砲擊

【孝陵衛十一日發同盟】我が砲兵隊は紫金山に放列を布いて十一日午前十一時を期して一齊に砲門を開いた、我が正確無比の砲擊は一發每に城壁及び城壁上の堅壘を片端から粉碎し火砲の威力を最大限度に發揮してゐる

和平、太平門の城壁奪取

【孝陵衛十一日發同盟】紫金山東北側より南京城壁に迫る野田、大野、片桐、助川等の各部隊は十一日朝來の猛攻に依り午前十一時三十分相前後して和平門及ぶ太平門の城壁奪取に成功、戰鬪を有利に展開しつゝある

中山門で大激戰

【光華門外十一日發同盟特派員】紫金山麓より南京城壁に迫まる富士井、伊佐兩部隊は十一日朝來空軍の激烈なる猛爆擊に依つて中山門死守の敵が怯むと認むるや午前十一時三十分中山門に殺到し砂塵の中に大激戰を展開してゐる

各城門で激戰

【上海十一日發同盟】總攻擊開始以來最初の二十四時間が過ぎた我が最前線部戰は十日に引續いて更に戰線を進め北東南三方の正面より城壁に向つて殺到し十一日朝來和平門、太平門、中山門、共和門は機關銃、手榴彈、迫擊砲等に依る激戰が展開され壯絶を極めてゐる

共和門で對峙

【光華門外十一日發同盟特派員】西北兩側の城壁上よりの抵抗を排除しつつ武定門外を一氣に北進した人見部隊は共和門の敵と對峙して朝來最も熾烈なる銃砲火を交はしてゐる

富貴山砲臺を潰滅

【〇〇基地十一日發同盟】福田、友永兩大尉の指揮する海軍航空隊〇〇機は十一日午前午後に亘り最後の抵抗をなしつつある南京上空に到り、明故宮附近に徹底的爆擊を加へ太平門內富貴山砲臺を沈默せしめた

國土よりも財產
支那の慘敗を容認し
あちこちで寢返へる

【ニユーヨーク十一日發同盟】ニユーヨークタイムス上海特派員アーベント氏の十日發電に依ると日本軍の南京攻略とともに支那側諸將領間に[illegible]度を示すもの續出し漢口、長沙方面の支那政府要人も漸く支那側の慘敗を容認するに至つた、就中中央より離反の疑ひの最も強いのは張學良、劉多荃、韓復榘、閻錫山、劉汝明等で彼等は国土よりも自己の財產と名声維持を念とし保身的に寢返りを打つたと傳へられる

閑院宮殿下御參內

【東京十一日發同盟】閑院參謀總長宮殿下には十一日午前十時二十分宮中に御參內天皇陛下に拜謁仰付けられ御所管事項について御奏上の後御退出遊ばされた

陸相參內

【東京十一日發同盟】杉山陸相は十一日午前十時二十五分宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付けられ所管事項について奏上種々御下問に奉答の後退下した

伊國聯盟を脫退
ス參事官外務省を訪問し
日本政府に通達

【東京十一日發同盟】外務當局發表、十一日午後六時イタリー大使館參事官スカマッカ氏は井上歐亞局長を外務省に來訪しイタリー大使の代理として本国政府の訓令に基きイタリー政府は本日同時刻にゼネバに於て國際聯盟事務總長に對しイタリーは聯盟を脫退する旨正式通告をなしたることを特に日本帝國政府に通報するの光榮を有する旨を口頭を以て傳達した

强力なる切札を
日本は手に收めた
ジユナール・ド・ゼネバ紙社說

【ゼネバ十日發本社特電】ジユルナール・ド・ゼネバ紙は十日の紙上に「進退谷まれる支那、日本の切札」と題する社說を掲げ左の如く論じて居る

日本軍は迅速に强力な支那軍の防禦陣を突破し今や南京城下に到着した、支那は軍事的に全面的敗北を喫つた許りでなく外交にかてもその期待に反して米英政府は勿論ソ聯さへ何等援助を與へない狀態である、日本の要求受諾を支那側が遲延すればする程日本側の要求は加重さるべく日本は漢口、廣東迄も進出するかも知れぬ、若所かる事態に立至れば北支の支那軍は[illegible]たれ全部は日本の支配下に置かれる事に至らう、支那の不統一は西安事變によつて見ても明らかで現に內蒙は獨立し、各地に自治政府が擡出しつつある、蔣介石がこの際日本の要望を入れれば支那は尙獨立と名目上の領土を保全出來やうがその場合は府は威信を失墜して下野の已むなきに至らう、又飽く迄抗戰を續行するとしても此の敗北は明かで、民衆は府を離れ、各附領は離絶するに至らう、日本は今や蔣介石の出方を靜觀しつつ對列强工作を開始して居るが英米側が滿洲国を承認し新事態に適合する態度を執るに至らなければ日本は上海租界の接收を斷行するかも知れぬ、日本は國運を賭して乘出したが今や强力なる切札をその手に收めたのである

海軍豫算案
佛下院を通過

【パリ十日發同盟】フランス下院は明年度海軍豫算案三十一億九千百萬法を審議の結果同案を採擇直ちに上院に廻付した

駐支英大使歸國

【香港十一日發同盟】駐支英大使ヒユーゲッセン氏は十一日正午當地發英汽船フブタナ號で歸國の途に就いた

駐英米國大使
新に任命
ケネディ氏に

【東京十一日發同盟】十一日着電の公報によればアメリカ海事委員會委員長ヂヨセフ・ケネディー氏を新に駐英米国大使として任命英国に特派せしむるに決定したと傳へられてゐるが、英米互惠通商協定は過般アメリカ政府の声明通り着々具體化しつつあり、アメリカは今後政治的經濟的にイギリスと二國協調を圖らんとしつつあるやうである

陸軍の首腦部
重要協議
陷落後の方針に就き

【東京十一日發同盟】陸軍では十一日午前九時陸相官邸に杉山陸相、梅津次官、町尻軍務局長、田中兵務、柴山軍務兩課長等首腦部參集南京陷落後に於ける諸方針並びに北支情勢及び蒙疆其他各面の諸問題に付き重要協議を遂げた

滿洲國の要員異動

【新京十一日發同盟】治外法權撤廢を機會に參議府副議長田辺治通參議矢田七太郎兩氏は何れも勇退するに決しこれに伴ふ人事の異動が十一日左の如く發表された

外務局長官　大橋忠一
司法部次長　吉田正武
特任參議（各通）
參議　橋本虎之助
參議　田辺治通
參議府副議長　矢田七太郎
[illegible]（同）
最高法院長　[illegible]
審判官　及川德助
任司法部次長（簡任二等）

我海の荒鷲の
赫々たる活躍
十二月一日から九日まで
擊破せる敵機は五十一機

【東京十一日發同盟】大本營海軍部公表（十一日午後四時三十分發表）支那方面艦隊司令長官指揮下の海軍航空部隊は中南支及び北支方面全般に亘り連日果敢なる空襲を行ひ、敵空軍基地、軍需品工場、軍事施設等を爆碎し以て敵空軍の戰力及び軍需品の製造補給能力殲滅に多大の效果を收むると共に中支方面陸軍作戰に直接協力して敵陣地及び軍事部隊に莫大なる損害を與へ其の進出を支援しつつあり十二月一日より九日迄に擊墜破せる敵機の數は五十一機にして（內擊墜二十四機地上爆破二十七機）この間に於ける我が海軍機の損害は九日南昌空襲において一機を失ひたるのみ、尙ほ支那事變勃發以來の彼我損害累計は

支那側損害

	確實なもの	三一六
	確實を缺くもの	一一
	計	三二七
地上爆破	確實なもの	一三八
	確實を缺くもの	二一
	計	一五九
合計	確實なもの	四五四
	確實を缺くもの	三二
	計	四八六

我方の損害は六十一機である

南昌に大本營
最後の抵抗？
諦めの惡い蔣介石

【上海十一日發同盟】首都南京も脆くも敗れて徹底的慘敗を喫したながらも蔣介石は抗戰態度を改めず最短期間內に南昌に戰時大本營を設置して、敗殘兵を纒めて最後の抵抗を試みるに決した、大本營の組織內には共產軍首領朱德、毛澤東等も重要地位に就かしめることとなつた、而して一方張治中をして新兵三十万を强制募集訓練せしめ又、廣西、四川、湖南の各軍を纒め軍事機構の强化を圖ると共に今後の作戰方針を變更して日本軍の猛攻に備へるに決したと言はれる

譽の一番乘り
畏し朝香宮殿下から
御褒の御言葉を賜ふ

【大校場十一日發同盟】第一線に在つて親しく御督戰中の朝香宮鳩彥王殿下には十日夜南京城壁一番乘りをなし遂げた〇〇部隊並に將兵に對し御褒めの御言葉を賜ひ且つ御手許の御菓子を賜はつたが、同部隊では之を全部勇敢なる城壁突入の勇士に贈つた、城壁上の勇士は暫し力執る手を緩めてこれを押し戴き勇氣百倍更に城內の敵と激戰中である

天津治安維持會が
南京政府を否認
全支各機關に通電

【天津十一日發同盟】天津治安維持會は十一日午前九時を期し全國各機關に對し南京政府否認の左の如き通電を發した

南京政府は多年國民の膏血を絞り國政を紊り、一方に於てはソ聯と提携して容共政策を執り中國をして赤化の蹂躪に委ねんとす、素より吾人は赤化政策に對しては全國を擧げて抗爭せんとするものにして南京政府の容共政策には絶對反對の態度を持してゐたが時恰も日支事變は日本軍の南京攻略に進展し遂に南京政府は重慶、漢口、長沙に分離し事實上解體するに至つた、南京政府の積弊を怨む全國國民は今や防共に依つて四億國民を救ふ新政府の速かに實現せんことを切望しつゝある依つて吾人は國民の總意として解體せる南京政府を否認し新政府の樹立に對して絕對的支持の意思を表明するものである

武漢に戒嚴令

【上海十一日發同盟】漢口來電に依ると武漢にも戒嚴令が布かれ武漢衛戍司令部郭懺は十日戒嚴司令に任命された同司令部では郭司令官の名をもつて二十箇條より成る命令を發し掠奪をはじめ敵方に諜報を供給し敵方に有利な宣傳をなし或は通信の阻害をなすものに對しては嚴罰を規定し併せて無届集會及び集團行進を嚴禁した

廣九線休止
我空襲を恐れて

【香港十一日發同盟】十一日午前九時半我が空軍は粵漢線連江口、黎洞を襲ひ更に南に引返し英德並に附近線路に爆彈を投下し又廣九線も我が空軍に襲はれたが廣九鐵路局は同線の列車運行を一時停止する旨發表した

南京陷落で
國府は潰滅
戰勝を祝す張國務總理談

【新京十日發本社特電】南京各城門占領の報に張國務總理は滿面に喜色を湛へ乍ら十日夜左の如く語つた

日本軍は蔣介石及び國民黨に對し膺懲の師を進めて居るが是は東洋永遠の平和の爲めで一般民衆が蔣介石の爲めに犧牲となつた事は氣の毒である、支那軍は勇壯にして整備せる日本軍に敵すべくもなく今にして後悔して居るであらう、南京占領は國府の潰滅を意味して居る、茲に慶祝の意を表し併せて日本軍の神速果敢なる奮鬪に對し敬意を表します

外務參與官の後任
春名成章氏を起用

【東京十一日發同盟】船田中氏の法制局長官就任に伴ひ缺員となつてゐた外務參與官の後任は銓衡の結果第一議員俱樂部所屬代議士春名成章氏を起用するに決定、十四日の閣議に附議正式決定される

人事

▲星野直太郎氏（合同肥料專務）十一日夜行にて歸社

▲山下博信氏　十四日富士丸にて內地へ

▲庄熊太郎氏（中山太陽堂販賣部長）十一日來臺（日之丸館）

▲木村泰治氏　二十日頃內地より歸臺の由

▲高見三吉氏（東京遞信局[illegible]取締役）十一日來臺（日之丸館）

【天無口】

台北州の警務部では先日來、市郡全面の警察に第一線に向つて『時局犯罪』に就ての認識と其の具體的取締等に關する打合會を行ひ、警務部總出で徹底を期してゐるが、時局の愈極化に伴ひ、且つは台灣の占むる重大地位に鑑み、その必要は益々加重される▲スパイ或ひは流言蜚語の類が、時局犯罪として重視さるべきは勿論であるが、斯くの如き判然たらざるものの中にも、許容し難き罪科が伏在し、世上往々にして、不用意の間に之を犯す者なきにしもあらずで、此の点一般世人の特に留意を要する点であらう▲例へば、何氣無い商行爲或ひは認識不足に基く經濟行動が現下の國家的立場に於て、許すべからざる非國民的行爲であり得る場合は決して少くないのである▲又は物語り類の不用意なる一言が次から次へと意外なる方面への波及も想像される所で、これ等の点に就ては、警察方面の取締りもさる事ながら、時局の高度認識に依つて、世人自體に於て自戒すべきであらう、當局の警戒に期待すると同時に、社會自體の自戒に向つても、その深甚なる留意を希望する所以である。

蔣介石は
一、二年外遊
結局下野して

【ニユーヨーク十日發同盟】南京陷落後における蔣介石の進退につき種々の推測が行はれてゐるが十日上海發ユーピー電は蔣介石は結局下野外遊の已むなきに至るだらうと報じ左の如く述べてゐる

蔣介石は政府部內の大勢が和平論に傾いてくれば焦土抗戰を唱へて來た手前下野の已むなきに至るだらう、この場合蔣介石は恐らく一、二年間外遊する事になるだらうと見られる

鎭江東北方の
砲臺を爆擊
艦艇の遡江を援く

【〇〇基地十一日發同盟】海原、小林兩大尉、[illegible]の指揮する海軍航空部隊〇〇機は十一日[illegible]揚子江を遡江しつつある[illegible]鎭江東北方約一里の砲臺を爆擊してこれを沈默せしめた

若禿 フケ 拔毛 止

三共 SANKYO

頭髮の養毛・殺菌・清淨料

三共のヨウモトニック（登錄商標）

どんなに戀しい女の頭でも「不潔なお髮は、心の不潔」を見せ付けられる樣でこれ程イヤなものはありません。

ヨウモト黨の女性は　日本髮も、パーマネントも凡てお洗ひにならなく共、いつも爽々しい清淨さを保ち、浮上つたフケや汚れは微塵もありません。

ヨウモト黨の紳士は　ポマードの力を藉らず共、いつも櫛目の跡もスッキリとしたスマートさを見せ、お髮は生々とした色艶に輝いて居ります。

而も獨特の養毛效果は、兎角頭皮が乾燥し勝ちな、これからの季節に、ひと入惱むフケや痒みを一掃し、拔毛を制へ、毛を丈夫に伸ばします。

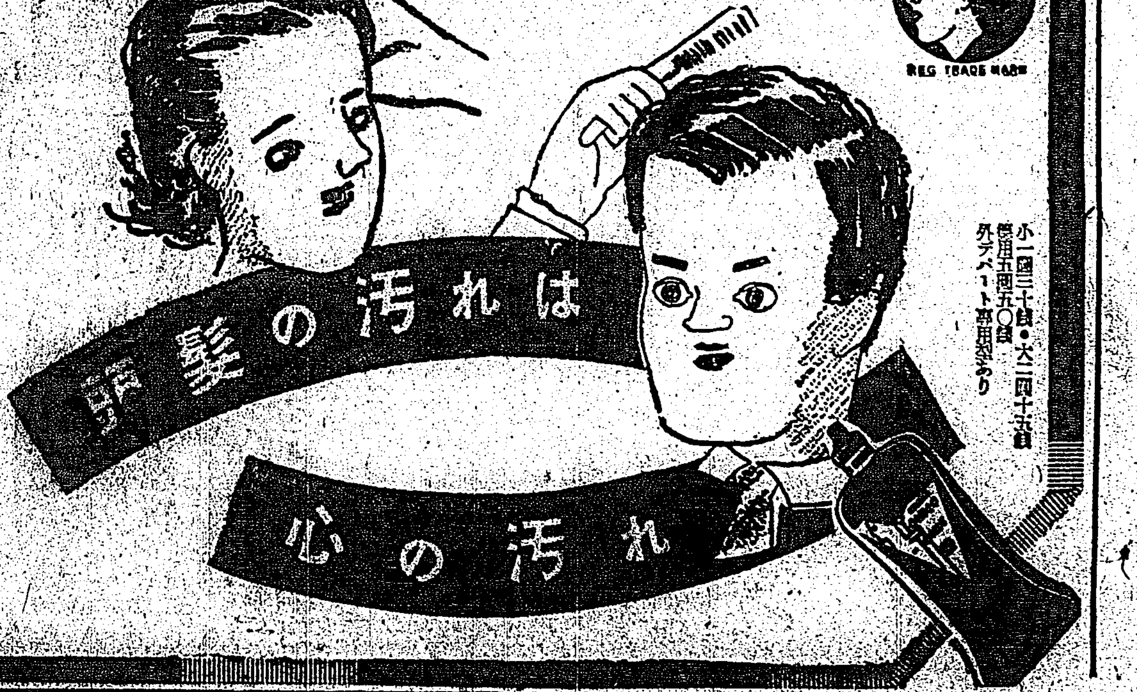
主治効能
フケ、痒み止
一般の脫毛
病、產後脫毛
若禿、若白毛
毛髮の榮養
美化に

ヨウモト香油
（新發賣）（定價六〇錢）
毛を伸ばす 新洋髮香油
サラ〳〵として、頭髮に粘らず、アイロン焼け・フケ・拔毛を予防して毛を丈夫に伸ばす新研究の香油です。

發賣元（三共經營）東京・室町 三共ビル [illegible]製藥株式會社

小一圓三十錢・大二圓十五錢
徳用五圓五〇錢
外ニデパート專用器あり

REG TRADE MARK


頭髮の汚れは
心の汚れ

時局の反映と街の景氣（臺北）

好影響を受けたものもあるが一般物資の需要は減る

（續き）

景況調べ

島都臺北市の十一月末日現在に於ける一般商況は既報の事變關係で大體不振であるが、之を各業別に見ると左の如くである

◆**洋雜貨** 最近の賣上げは前年に比し約二割方減、帽子は一割方減、メリヤス類は最も打撃大化粧品は婦人の必需品と見ず賣行振らぬ、價格は二、三割內外高

◆**蓄音器** レコード、時局もののみよく賣れるが一般に需要減少し平均四割方減、價格は一割乃至一割五分高

◆**ラヂオ、電氣器具** ラヂオ器具は賣行二割方增加し、その他も概して良好なるも材料不足で二、五割高

◆**運動具** 賣行一割五分減、革製品は一割高

◆**醫療器具** 對岸輸出減乍ら演藝輸入杜絕の為醫者にかかる者多くなつたので島內需要多く結局稍々增、價格は五割方昂騰

◆**毛皮** 取引筋商の多くが支那人であつたための引揚と倒れが打撃、需要は二割方減、皮革相場十割高

◆**海產物** 對岸輸出減は全賣上げの約二割に當り、皇民化思想普及により生活改善で旧來の祭祀廢止のため一割方減、合せて需要は三割方減、スルメは四割方昂騰

◆**麻布** 輸入杜絕により打撃大きく賣上五割方減、價格二割高

◆**紙** 需要はさしたる變化なく價格は和紙二割高洋紙は一割高を示した、賣掛回收不良

◆**罐詰** 賣行は軍需を除いては變りなし、輸出資の島內需要漸增を辿つてゐるが之は舶來物代用と見られる、價格は一般に二割高內類罐は三割高

◆**百貨店** 品物によつては惡いものがあるが良いものもあつて結局昨年より良好で、豫定數には達しない、一般に[illegible]してゐる

◆**仕立所** 洋服は男子物は節約のため減少したが女物は生活改善と、支那職人引揚のため本島人の注文多くなり却つて增子供ものは稍增、高級物は賣行惡い

◆**三味線、琴** 時局柄三味線の賣行は杜絕の形で八割以上減、琴は家庭向とて左程減らぬ、價格も變らぬ

◆**綿布、毛織物** 時局柄國防色物の賣行旺盛なるも柄物、絹物、高級品は激減し平均すれば一割方減毛物二割高綿類變らず

◆**文房具** 賣行變らぬ、鉛筆その他金屬物は三割方高、官廳側の注文は變らぬが來年度の節減が懸念される

◆**醫藥、賣藥** 對岸向は打撃あるも島內は漢藥に代つて良好結局賣行はよい、稍々値上りを見た

◆**漢藥** 對岸よりの輸入杜絕のため價格五割十割と昂騰せるものあり需要激減、最近は天津より輸入されてゐるので相場も斷落

◆**便利屋組合** 全然駄目

◆**金物** 島內需要は鐵鋼使用制限令により減少せる品減のため供給不足を來してゐる、價格一割方高

◆**醬油、味噌** 支那人雜貨商引揚のため掛倒れ多く打撃甚大、二、三割昂騰

◆**吳服** 上物は賣行惡く、冬物捗々しからず價格一、二割高

◆**ブリキ製品** 八割方昂騰のため需要も二割方減

◆**酒類** 七、八月は激減したが最近著しく回復し結局二割方需要減

◆**食料品** 上級品は二割方減乍ら並以下のものは變りなし

◆**印刷業** 一般の印刷は稍減乍ら年賀狀は著減して居り打撃大きく平均二割方減

◆**土產物** 約五割方減

◆**玩具** 一般に一割方昂騰せるも需要に變りない、親子の愛情の然らしめるものであらう、軍事物賣行よし

◆**書籍** 時局物の賣行本よし其の他變りなし

◆**自動車部分品** 三割方減相場は三割方高

◆**時計** 二割方減、價格一割高以上に見るに非常時反映の節約は男子用殊に高級品が著しく、婦女子物は比較的影響が現はれてゐない

銀行無盡會社の不動產擔保貸付

上期末で一億四千七百萬圓

財務局金融課調査

昭和十二年上期末に於ける島內銀行不動產擔保貸付金總額は一四七、〇九二、一三八円にして前期に比し五、二二六、〇二六円を減少した、之を總貸付金二七一、九八八、九二四円に對比すれば其割合は五割四分となり前期に比し一分減少である、次に公共團體に對する無擔保貸付金二六、七八六、三九〇円にして前期に比し三、八〇〇、三〇二円を增加し、總貸付金に對する割合は一割二分にして前期に比し二分の增加となつてゐる、貸付金の利率は不動產擔保貸付金にありては最高一錢、最低一錢二厘にして前期に比し最高一厘低下し公共團體に對する無擔保貸付金にありては最高二錢、最低一錢二厘にして前期に比し高低はない

無盡會社の上期末における不動產擔保貸付金總額は三三二、六一四円にして之を前期に比すれば四四、二三九円の增加である、而して之が總貸付金に對する割合は三割一分にして前期に比し六分の增加となつてゐる、尙ほ無盡會社の貸付利率は最高二錢五厘、最低一錢八厘にして前期に比し變化を示してゐない

銀行及無盡會社不動產擔保貸付金地方別內譯（單位円）

銀行及無盡會社	種別	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	臺東廳	花蓮港廳	澎湖廳	計
銀行	土地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	建物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
無盡會社	土地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	—	[illegible]
	建物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	—	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	—	[illegible]
合計	土地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	建物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

銀行及無盡會社不動產擔保貸付金調（單位円）

銀行及無盡會社	種別	昭和十一年下期 口數	昭和十一年下期 金額	昭和十二年上期 口數	昭和十二年上期 金額	增△減
銀行	土地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	△[illegible]
	建物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	△[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	△[illegible]
無盡會社	土地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	建物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	土地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	△[illegible]
	建物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	△[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	△[illegible]

各銀行ノ公共團體ニ對スル無擔保貸付金調（單位円）

團別	昭和十一年下期 口數	昭和十一年下期 金額	昭和十二年上期 口數	昭和十二年上期 金額	增△減	利率 最高	利率 最低
州市街庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二錢	一錢二〇
其他團體	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二錢	二錢一七
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二錢	一錢二〇

商相の抱く綿布の義務輸出制

國內轉賣防止のためか

【東京十一日發同盟】國內消費綿布に對するステープル・ファイバーの混用強制並に綿布の義務輸出制の確立を中心として、吉野商相は綿布の義務輸出制を實行せんとする意向を固めて居り、目下事務當局に對しこれが立案を急がせつつある、右は綿業の民需綿布を行ふに當つては輸出向き綿布製造用に對しては一ケ月二十万梱の原綿を割當て、又國內向きとしては七万五千梱を留保し、且つこの部分については三割以上ステープル・ファイバーの混用をさせる事になつてゐるので國內の綿布供給が不足し、必然的に海外相場に比し國內相場が割高となり、その結果業者中には輸出向け綿布を國內に轉賣するもの現はれる傾向あるのでこれが防止の意圖から出たものである

新日本砂糖工業發起人會

【東京十一日發同盟】鹽水港製糖では十日日本館東京出張所にパルプ事業進出並に之が經營の手段たるべき新會社の設立に關する發起人會を開催し最後的打合せを行つた結果大要左の如く決定した、創立總會は明春四月六日頃の豫定である

一、名稱　新日本砂糖工業株式會社

一、目的　各種パルプの製造販賣並に之に附帶する一切の業務を營む

一、資本金　二千五百万円（株式總數五十万株）

一、株式割當　鹽水港製糖所有二十八万株、發起人所有二万株とし一般に公募せず

一、拂込　明春四月五日を期し第一回四分の一、總額六百二十五万円を徵收する

生絲ヂリ安

[illegible]所入電によれば十日の橫濱糸況は定期當限六百八十九円と前日より廿八円安、先限六百八十四円と二十一円安、定期糸ヂリヾ安の為氣配弱く當用口に辨々商內出來外に染みたる買人なく現物、D格相場六百八十五円と前日より二十五円安

丸糯又躍騰

沖十四圓五十錢

【神戶十一日發本社支局特電】南京城陷落に京阪神各都市は沸立つ如き喜びに晝は旗、夜は提燈行列にと街を賑はしてゐるが、わけて神戶在港各船舶は滿船飾を施し陸に海に歡舞の高潮に達し花電車は歡喜の人々を乘せて走るやら到る處大祝勝調が擧げられた、再反騰の丸糯は沂物、年內物沖十四円五十錢と鳴騰、專業筋は勿論、味醂筋も買氣を見せ初め船腹不足と相俟つて[illegible]調

綿絲花最高值

【東京十一日發同盟】來週中の綿絲棉花最高值左の如し

綿絲最高值

双鹿標十手　二〇一円

三月限　二〇一円五〇錢

同　十六手　二二四円五〇錢

三月限　二二五円

金魚標二十手　二二八円

三月限　二二八円五〇錢

金馬標三十手　二七三円五〇錢

三月限　二七四円五〇錢

同　四十手　三〇二円五〇錢

三月限　三〇四円五〇錢

棉花最高值

一梱　四九円七五錢

三月限　五〇円

滿洲から更に北支へも

─臺灣茶の進出計畫─

臺灣茶の對滿販路擴張に力を入れて多大の效果を擧げた台灣茶商公會では、之を以て滿足とせず、先月內台聯合茶業大會に於て可決したる內台茶滿洲、北支、蒙古への輸出增進に關する件並に台灣紅茶の世界的躍進振りに鑑み近く來年から更に北支方面へ組合員を派遣し販路擴張に關する資料調査を爲さしむべく計畫を進めてゐる、北支方面の治安は漸次維持され、砂糖、麥粉、人絹、果物、麥酒等の進出は單に時日の問題だけで殊に同地の空氣は非常なる乾燥の上水質も良好ならざる為め、常に茶を愛用嗜好するから台灣茶の輸出は勿論有望であるが、今後にかけて一層增產急務が要望されてゐる

臺灣米生產費

廿一圓五十錢內外か

殖產局米穀課では豫て滿米生產費調査をなしてゐたが、財津技師は目下臺灣米價格決定の基礎資料たる生產費決定の用務で、來る十四日上京することとなつた、昨年の臺灣米生產費は石當り十七圓九十九錢であつたが、本年は肥料其他の物價高、賃銀高等のため約二割方昂騰して居るので二十一圓五十錢內外となるものと見られてゐる

總督府獎勵の籾貯藏實績

州別數量と助成金

季節的出廻調節のため總督府では今年も前年通り籾の短期貯藏を獎勵してゐるが其の實績は左の如くである

◇州別貯藏數量及助成金額

州別	蓬萊（千斤）	在來（千斤）	計（千斤）	助成金（千円）
臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新竹	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右の內臺中は十二月一日より、臺北、新竹、臺南は十一月一日より夫々貯藏開始し高雄は來る二十一日より開始の豫定で、期間は二ケ月間である

臺北市內宅建擔保貸付

─勸銀調査─

勸銀臺北支店調査による昭和十一年度中、受付の臺北市內宅地建物擔保による貸付の集計を見るに貸付總額一千三百五十三件四百二十三万五千八百四十円で、貸付種別により分類せば

種別	件數	金額
年賦	一二八件	五二一、六一〇円
定期	五四二	七三二、六六五
根抵	六三一	二、九三三、二六五
月賦	五二	[illegible]

で、尙之を貸付先種別に見れば次の如くである

種別	件數	金額
銀行	二五六件	一、七八六、二七〇
商業組合	四五七	一、〇九八、三〇五
建築組合	五五	[illegible]
會社	五一	[illegible]
個人	五三四	[illegible]

株式利廻り更に低下

─十二月一日現在勸銀調査─

日本勸業銀行調査課發表による十二月一日現在の主要株式平均利廻は五分五厘五毛にして、之を前月に比すれば四毛方、前年同月に比較するときは七毛方の低落となつてゐる。左表に示す所に依り明かなる如く、當月の株價平均相場が新材料待ちの市場不冴に八十七円十七錢と前月に比し僅少乍らも六錢方の低落を示したる點より觀るときは、當月の株式利廻は寧ろ騰貴の傾勢に在るべきだが、減配せるもの數社に及べる為め前掲の如く却つて低落を見るに至つたのである、今回の調査に依る主要株式七十種に付其の利廻の騰落狀況を見るに、前月に比し騰貴せるもの二十九種、保合は八種にして、殘餘の三十三種は低落せるものである

昭和十二年	拂込金額 円	相場 円	配當率 分	利廻 分	指數	前年同期 利廻 分	前年同期 指數
一月四日	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月一日	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月一日	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月一日	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月一日	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月一日	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月一日	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月一日	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月一日	〃	[illegible]	[illegible]	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月一日	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月二日	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月一日	〃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

備考

一、指數は大正三年七月を基準とす

二、利廻は各株式利廻を平均したるものにして本表の拂込金額相場の配當率より算出したるものにあらず

三、橫濱火災海上一分、東京乘合自動車一分、東京株式取引所二分各減配せり

臺灣製麻業況

三分配二期續く

增配は明年から

臺灣製麻は今夏臺南製麻の共販加入後兩者間に行はれた猛烈な競爭がなくなり業績安定したところへ時局の好影響を受け麻包用ヘッシヤン其他特殊品の製造に多忙を極め移出米用麻袋の生產減に補はれ目下の所業況順調である、尤も移出米用麻袋は臺南製麻の共販加入前一枚三十三錢の安値で多數の先物契約をなし現在受渡中のものにも尙安值契約品が殘つてゐるので十月末の總會では前期同樣年三分配當維持の保障なき狀態にあつたが明春以後は値上げ後の契約品を製造することになるので配當率も幾分向上するに至るべく明年下期には臺南製麻出現前の一割は望めなくとも昨年下期の七分程度には復するものとみられてゐる

パルプ事業の指導は商工課

所轄が決定

殖產局のパルプ事業指導に關する事務は特產課、商工課雙方より要求されてゐたが商工課所管となることとなり新規事業として人件費一万円餘が要求されてゐる

三五會の座談會

臺北少壯實業家を以て組織する三五會は十二日午後三時半日本亭にて本年掉尾の例會並に座談會を開催、勝間田善作氏も列席する由

車路墘壓搾開始

鹽水港製糖車路墘第一工場は十日午後六時より壓搾を開始した

熱帶農學會總會

熱帶農學會總會は十五日臺北市公會堂にて開催され引續き學術講演會を開く筈

內外商況欄（十一日着電）

期米

祝賀氣分橫溢し强氣筋買に上向く

堂島米況前場

【大阪十一日發同盟】昨後場小反落の氣先今朝は南京陷落祝賀氣分橫溢し先限は三十四円八十五錢と四十錢方上放れて寄付きアトも強氣筋の買進みに節々引締り九十錢と五円臺へ肉薄休日控へに結局九十五錢と底堅く引けた

堂島兩建控除倭合

當限　二一、六〇〇石　賣方北川以下十店　買方飯崎以下十一店

中限　七四、二〇〇石　賣方上稲以下九店　買方飯崎以下十五店

先限　四八、六〇〇石　賣方北川以下十四店　買方飯崎以下十一店

本日出來高一一七、一〇〇石

堂島前場先限主なる手筋

賣方　朝鮮筋利喰、地場弱氣

買方　桑名筋、西筋、地場強氣

堂島前場先限主なる手振

賣方　渤光六〇〇岡崎、田中金、上稲四〇〇

買方　飯崎、飯高八〇〇

堂島雜觀

【大阪十一日發本社特電】万歲三唱に明けた南京陷落祝賀氣分明朗高値に開始、當限取組者[illegible]れ硬軟双方手詰め商內進捗す▲先限東京の上昇化も氣配を眺め買進み好勢を呈し弱方も逆轉的の無理な商內を[illegible]句目に[illegible]なるから近畿の高値買[illegible]▲[illegible]

協議の結果海堀には自發的休業せ木村は過怠金處分となつた、

【大阪十一日發同盟】祝捷祝賀氣分で買氣を強め三十五円臺に肉薄する好勢を示し朝鮮關係も順調となり東京も本朝で漸く五分五分となつたこの賴みは賣警戒の必要もあらうとの見解もあつた

米界餘聞

【大阪十一日發本社特電】當限平穩納會說有力となりつつあり解商內も進捗しつつあつたが賣方は玉整理に專念當限に一部手筋の渡米說流布されてゐる▲前月の受米を離して居る一部賣方は朝鮮產地側の悩みに入り渡米意向を洩らす是は當用筋中心だけ注目されて居る▲延べ市場も年內先安不振り觀念益々濃厚、今後納受渡說され延べ市場も目下賣上げ納入米のハタ埋めに內地への賣り[illegible]されてゐるものの一巡後一杯[illegible]するのと豫想さる

大阪正米標準值【十一日本社特電】

內地中米　三六、一〇　朝鮮中米　三四、八〇

蓬萊米　三三、六〇　在來種　三〇、八〇

丸糯米　三四、七〇

大阪在庫米

內地玄米　一六七、六六七

同　白米　一九、一二一

朝鮮玄米　六、〇四七

同　白米　五、二三一

蓬萊玄米　四、八一三

同　白米　[illegible]

碎米　七、一二三

砂糖

賣物殺到下押す

一清算一【大阪十一日發本社特電】倫敦安ロンドン安に急與賣物殺到に急反落、あとも現物軟化に氣步ありて買支へも利かず下押す

一現物一【大阪十一日發本社特電】分蜜は定期安に軟化したが在庫薄見越され底意は硬い、粗糖は落つく

大阪砂糖現物【十一日本社特電】

△分蜜TAB　一九、八五　TEA　[illegible]　DSA　一九、八三

△精糖ST　三三、六〇　[illegible]

MS　三三、四〇　三三、〇〇　[illegible]

△耕地白糖A双　三三、六〇

△再製二酒OBB　二〇、二〇

△黑糖琉球①　一五、六〇

島內商況

正米市況

利喰賣に丸糯反落

蓬萊　[illegible]に期米京りと丸糯筋を好感し杉原買に小口頭れ運行して[illegible]りであつた

丸糯　は期米京りと現物[illegible]め十日夜進落、[illegible]買あつたが降雨に京りの氣先、今朝は雨天と南京攻落、期米高調を好感して產地筋[illegible]の乘替買に買した[illegible]アト押目買入[illegible]

臺灣正米市況後場

▲二期蓬萊米　[illegible]

▲二期丸糯米　[illegible]

臺米現物相場

種別	[illegible]	[illegible]
北部二期蓬萊米	[illegible]	[illegible]
中部二期蓬萊米	[illegible]	[illegible]
南部二期蓬萊米	[illegible]	[illegible]
北部二期丸糯米	[illegible]	[illegible]
中部二期丸糯米	[illegible]	[illegible]
南部二期丸糯米	[illegible]	[illegible]
北部二期在來米	[illegible]	[illegible]
中部二期在來米	[illegible]	[illegible]
南部二期在來米	[illegible]	[illegible]

臺北籾相場

蓬萊籾　[illegible]

臺中米價（十一日）

丸糯籾　九五、〇〇

在來籾　七二、〇〇

蓬萊米一期　一一円四〇錢

丸糯米一期　一二円五〇錢

出來高蓬萊米一期　八、四三二袋

丸糯一期　八、九四〇袋

（臺中商議調）

臺北穀肥擔粉

豆粕　[illegible]

內地硫安　[illegible]

過燐酸一五％　[illegible]

[illegible]

穀肥

神戶豆粕前場

限	寄	引
十二限	五、四六	五、四七
一限	[illegible]	[illegible]
二限	[illegible]	[illegible]
三限	[illegible]	[illegible]
四限	[illegible]	[illegible]

神戶豆粕後場

限	寄	引
十二限	五、四七	五、四七
一限	四六	四六
二限	四八	四八
三限	四九	四九
四限	五〇	五〇

神戶硫安相場

日窒物　三、八七賣　三、八五買

滿洲物　九九、〇〇賣　九八、〇〇買

神戶穀肥市中相場

大豆現物九、七〇　同沖濟物八、五五　豆粕現物二、五六　同沖物九、[illegible]　小麥內地物一〇、一五　麥粉（百匁）四、六二　穀石現物　三、八八　過燐酸15％物一、八〇

下關麥粉相場

綠ダイヤ印四、六五　富印四、六二

大連特產前場況

【大連十一日發同盟】休日控へに賣物薄く各品とも小戾りであつた大豆は歐洲奧地保合ながら現物薄く戾り奧地筋賣りマバラと邦商の小口買ひ豆粕は邦商の買氣旺盛に相場も強く商內活潑豆油は邦商外商の買物現れ强調を示した

大連特產前場

品目	寄	引
大豆現物	六、三五	六、三五
十二月物	[illegible]	[illegible]
一月物	[illegible]	[illegible]
二月物	[illegible]	[illegible]
三月物	[illegible]	[illegible]
四月物	[illegible]	[illegible]
豆粕現物	[illegible]	[illegible]
十二月物	[illegible]	[illegible]
一月物	[illegible]	[illegible]
二月物	[illegible]	[illegible]
三月物	[illegible]	[illegible]
豆油現物	[illegible]	[illegible]
十二月物	[illegible]	[illegible]
一月物	[illegible]	[illegible]
二月物	[illegible]	[illegible]
三月物	[illegible]	[illegible]
四月物	[illegible]	[illegible]

大連特產出來高

大豆　一六九車　定期　一五〇車　現物

豆粕　九万三千枚　八千枚

大連特產在荷高

	出廻	在荷
大豆	二六五車	一、八二二車

絲況

大阪綿絲前場

	寄	引
天候晴		
豆粕日產高（一百分乙）	一三三車一〇七万六千枚	二万三千枚
十二月限	二三五、八〇	二三五、五〇
五月限	二三四、五〇	二三四、七〇

大阪棉花前場

十二月限　七〇、四〇　六九、三〇

四月限　七三、九〇　七三、七〇

橫濱生絲前場

十二月限　六八五、〇〇　六八四、〇〇

五月限　六八三、〇〇　六七六、〇〇

大阪重要商品（十一日本社特電）

品目	相場
神戶ゴム現物	五七一厘
木綿文印現物	五九五厘
モスB一現物	四八三厘
人絹織平地	九一厘
人絹帝人C	七一円〇〇錢
絹紡糸三銘	三〇七円五〇錢
ネル九〇生地	七〇円七五錢
澱粉新現物	六四円五〇錢
電氣銅塊（水曜會）	一一〇円〇〇錢
鋼板一分	一二〇円〇〇錢
銑鐵釜二浦	八八円〇〇錢
平板	一一四円〇〇錢
浪板亞鉛引	一一二円〇〇錢
揮發油	七四円二八錢
木材米松大角	一一〇円六五錢
曹達灰（內國）	一〇円〇〇錢
毛糸ZC	一二円五七錢
北海小豆新三	一〇円二〇錢

爲替

神戶對外爲替前場

對米期近　二九弗一六分一寶　一六分三買

同　先物　八分一買

對英期近　二九弗寶

二志二片寶　二片三二分一賣

同　先物　二片三二分一買

一志〇二片寶　二片三二分一賣

日銀帳尻（單位千円）【十一日本社特電】

發行高　一、七二八、八二七

正貨準備　八〇一、〇〇〇

預金　三八八、六四九

貸出　[illegible]

東京市中コール【十一日本社特電】

	安値	高値	標準
翌日拂	〇、八五	〇、九〇	〇、八五
月越物	〇、九〇	一、〇〇	〇、九五

株式

南京陷落織込濟

新東始め利喰賣

兜町前場況

【東京十一日發同盟】長期一南京陷落、山西省の新政權樹立等で市場の人氣一段と明朗化した樣だが既に織込濟みなので休日控へ旁々却つて買方の利喰ひ觀みとなり諸株一齊に軟調に轉じた、紡績株は鐘紡新、富士紡、日清紡新、朝鮮紡等一、二円方押し砂糖、船舶株鈍狀、商船新旧、[illegible]、新東も一、二円內外安、軍需株も手仕舞賣物觸援の為め鋼管、小倉鋼、日立等一、二円反落も二円八十錢と四十錢安に寄付き、東株は短期安に旧二円五十錢安新その後八十錢安まで上伸、後半南京陷落の逆襲は既に織込濟みで却つて賣方の利喰ひ觀みとなり新東は百七十七円六十錢と四十錢方の手仕舞に新落西筋とマバラ買方の手仕舞に新落五円臺に低落、大引は四円六十錢の安値引け、新鐘も一百九十二円絡みから八十六円臺に反落、日產も八十六円臺と安値引け

東京短期取組喰合

新東　三六二、四二〇株　賣方四二店　買方五四店

日產　一四七、九九〇株　賣方二五店　買方七一店

鐘新　賣方二八店　買方四七店

大阪短期取組（十一日本社特電）

大新　賣方二〇店　買方五六店

東新　賣方二八店　買方四九店

帝人　賣方一九店　買方五〇店

日產　賣方二七店　買方四七店

商船　賣方二八店　買方五一店

（北）（濱）（展）（望）

【大阪十一日發同盟】南京陷落と職捷氣分も既に織り込まれ過般來この快報見越しに買進んだ强氣は一齊利喰ひせんとするもの續出一方で遅れ株の訂正買襲へず好調を示すものあり複雜なる商狀を呈し東新は百七十六円九十錢と寄付きしたが八十錢と押目買に八円九十錢と戾したがアト高値續かず五円四十錢に三十錢と下げてゐるものの見たけ中旬に十四円內外押すのではないかと見られ自重氣分のみで悲觀的のものなく單なる押目と見られてゐる

財界株界

【東京十一日發本社特電】南京完全占據は時の問題だが皮肉にも相場は逆に安く始めて下押しを見せた、目先のものを一應賣盡した準句だ

何かなくとも一押あつて然るべき所である、或は絶好の押目とも云へるだらう▲併しそれにしては未だ押し足らぬ節がある、新東の如き過日の高值百八十四円五十錢から今日の安值百七十四円六十錢で約六円方押した切りだ押目待ちに押目なしとでも云ふか如何にも强調な所がある▲南京陷落後の長期戰の有無とかその後に來る國際政局の複雜化等を多少氣にして居るやうだが何としても樂觀氣分が强い▲午後から東株の行動と當方國家管理案問題につき田島取引所監理官長陳氏の講演があつた、取引所のおえら方や取引員達も近頃大分勉强家になつたものである▲何れこの話を聞いて參考に資し又研究もしようと云ふ譯だらうが業者側が政治シーズンに入つて猛烈な反對氣勢をあげて居る折柄何だか取引所連中迄が業者側のお先棒を担いで居る樣だ▲そんな時に二三度あつた樣な氣がする、單に研究に留め置く程度なら筋は通るが若し噂通りとすれば時節柄除りに出過ぎた話である▲それよりも取引所自體としてもつともつと研究もし改善もせねばならぬ事が多々ありはせぬか▲總勢一万人の大提燈行列を今夜決行する筈だつたが南京の完全占領迄は延期になつた▲土曜半休と日曜を當て込んで仕組んだ折角のプランも是でオヂヤン聊か拍子拔けの態だ▲揉みに揉んだ例の堂米市場亂手騷動も當の責任者海堀君が取引所の處分を前に自發的に謹愼の意を表し十二月十日以降三十日間休業を取引所に申出でさしものスッタモンダもどうやら是でケリがついた模樣だ。

東西南北

北支の明朗化は南京陷落により一段と光を加へ資源の開發は今後大いに期待されると共に一面邦品の新市場開拓につき民間業者の積極的努力を要する秋が來た▲過般臺灣青果の池田常務が北支視察に出掛けたのもバナナの市場調査と今後の進出準備の為めと思はれるが、糖業聯合會でも北支の市場を十分調査し置き台灣糖の輸出に遺憾なき手配が必要だ、無論如才はなからうと思はれるが▲それから製茶であるが、包種茶に似た毛峰茶が滿洲國に歡迎されてゐるやうに北支にも輸出の望みがあるが山西方面では磚瓦の形のやうに壓縮して固めた磚茶といふのが專ら消費されてゐる昨年此の山西省を視察し大連から磚茶の製造機械を一台買つて來たのが前記の陳清波君である▲臺灣茶の販路開拓に熱心なだけあつて此の新市場に着眼、臺商でも磚茶を製造して北支輸出に先鞭を著けんとしてゐる樣だが、この機械は引台はぬさうだが此際關稅の改正が先決問題かも知れぬ▲此の北支進出に伴ふて閑却出來ぬのは台灣と北支との航路を改善充實することである、大阪商船の高雄天津線は基隆から大連に直航天津に至り、高雄大連線は基隆から大連に直航營口に至るもので青島に寄港するものがない▲事變後此の方面が安定したら是非共青島にも寄港させるやうにし進んでは天津航路を青島を經て直く行けるやうに改善するか或は新線をつくる必要がある、船舶會社の盛設を望んで置く

登記公告方

昭和十三年中當臺北地方法院ニ管內支部及出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ臺北市ニ於テ發行スル臺灣日日新報ニ揭載ス但花蓮港支部及臺東出張所ノ各支所管轄區域內ニ付テハ花蓮港街ニ於テ發行スル東臺灣新報ニモ揭載ス

昭和十二年十二月

臺北地方法院

商業登記公告

●新高タクシー合資會社（變更）昭和拾貳年拾壹月拾九日無限責任社員金木有限林水木ハ出資持分全部ヲ左者ニ讓渡シテ退社左者同日入社ス　臺北市東園町參〇八番地　金九千円無限責任社員[illegible]

右昭和拾貳年拾貳月拾日登記

臺北地方法院

大阪商船　出帆　臺灣

◎基隆出帆（△印貨物お斷り）

門司神戶行　（高砂丸）　（蓬萊丸）　[illegible]

香港行　香港丸　[illegible]

鹿兒島、長崎、博多、北鮮行　河南丸　[illegible]

沖繩行　湖北丸　[illegible]

蘇澳、花蓮港、臺東行　めなと丸　[illegible]

高雄、比律賓行　しかご丸　[illegible]

西貢盤谷行　ばたびや丸　[illegible]

タワオ爪哇行（南洋海運）　マカッサル丸　一月三日　正午

◎高雄出帆

馬公行　廣東丸　每奇數日午前十時

香港行　香港丸　[illegible]

東京直行　△彰化丸　[illegible]

其他船便多數アリ　臺北電話五八五〇

近海郵船　基隆出帆

門司神戶行　富士丸　十二月十四日前七時發

大和丸　十二月廿日午後五時

上海內地行　箱根丸　十二月十九日前九時

香港歐洲行　香取丸　十二月十五日正午

辰馬汽船　出帆

桃葉丸　十二月十五日基隆入港

宮殿丸　十二月十八日基隆入港

白羽丸　十二月二十日基隆入港

大連汽船　基隆出帆

大連直行

山西丸　十二月廿五日午後五時

山東丸　十二月廿日午後五時

丸一組　高雄電二四七　基隆電八九九　臺北電二八八一

義士の忠魂を商道に移して
松
松井の康販狀
御恩返し
期間中御買上二円以上のお方に對大そば接待
十二日・十三日・十四日（三日間）
時恰も…赤穗四十七士の壯烈なる快擧の日を迎ふるに當り松井全店感激と興奮に張切つた御禮大奉仕品の決行！
◎全商品赤札付大値下げ斷行
▼大島絣赤札特賣
▼銘仙赤札特賣
▼女物無地羽織赤札特賣
▼銘紗着尺赤札特賣
▼訪問着赤札特賣
▼白生地丸帶二割引
▼男物女物長襦袢赤札特賣
▼名古屋帶赤札特賣
▼七五三縮緬…特賣
▼既製品均一特賣
選り拔き四十七均一大會
選りに選つた實用品…四十七の見事な勢揃ひ御恩返しするは今！
▲四十七錢均一▼
毛襟　四七
敷布　四七
子供毛布　四七
正月國旗　四七
お正月用足袋二足　四七
おしめカバー　四七
チャンチャンコ　四七
銘仙風呂敷　四七
本裂絞り帯揚　四七
▲四圓七十錢均一▼
銘仙中柄　四・七〇
▲四十七圓均一▼
同　男物　四・七〇
村山大島　四・七〇
更紗布團　四・七〇
毛布　四・七〇
西陣名古屋帶　四・七〇
銘仙仕立丹前　四・七〇
振袖袷付　四七・〇〇
西陣丸帶　四七・〇〇
大島絣定　四七・〇〇
狐襟巻　四七・〇〇
シヨンベルベット　四七・〇〇
コート地　四七・〇〇
皆様の店
名やゝ　松井吳服店
一刻も早く松井へ

銘酒
忠勇
祝戰勝
祝戰勝
祝戰勝
發賣元　銘酒忠勇　株式會社　桑田商店

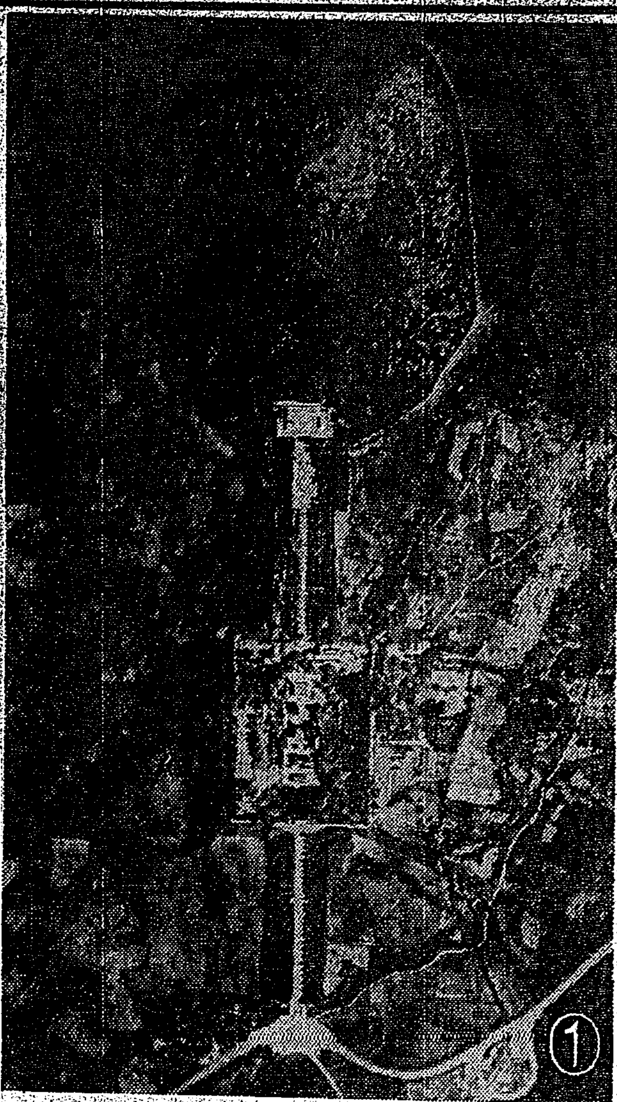
くすりをあはせます
處方調劑致します
臺北市榮町四丁目十一番地
信生堂藥局
電話三一八九番

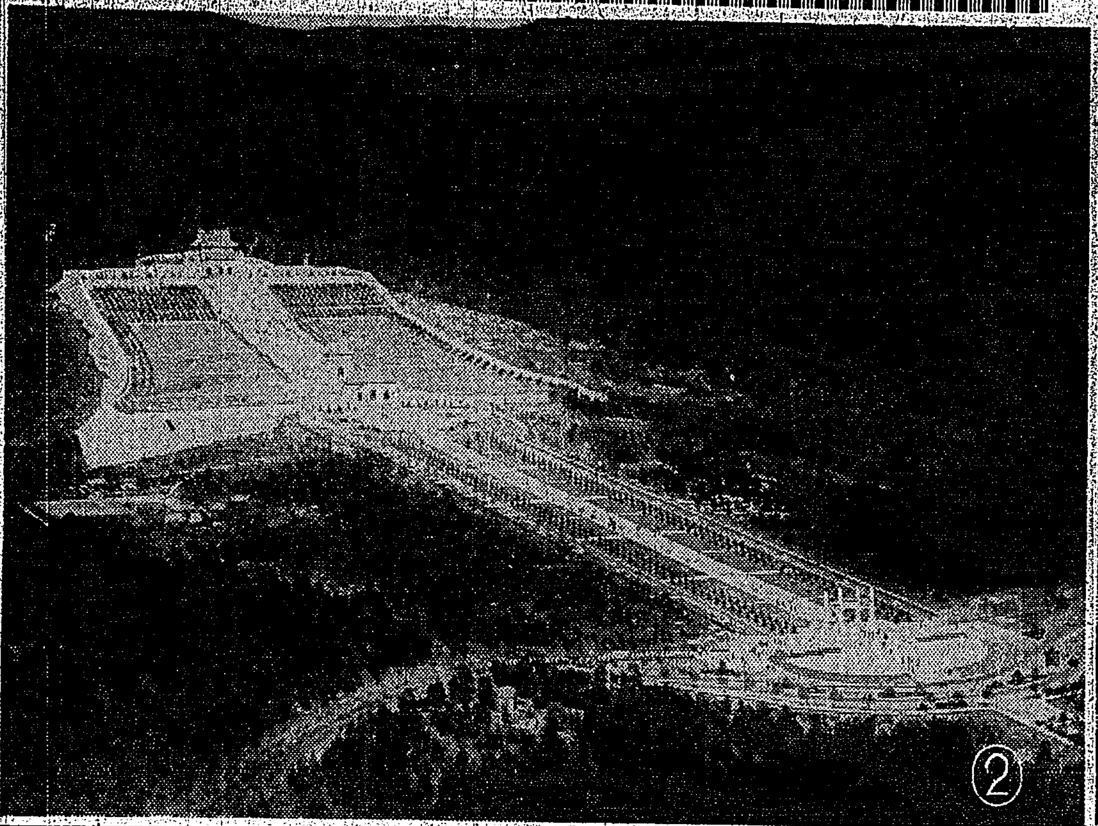
メイセンなら
專門の…秩父屋へ
◎新柄豐富着荷…
本年最終の大廉賣奉仕
臺北市榮町三　電話六〇三七番

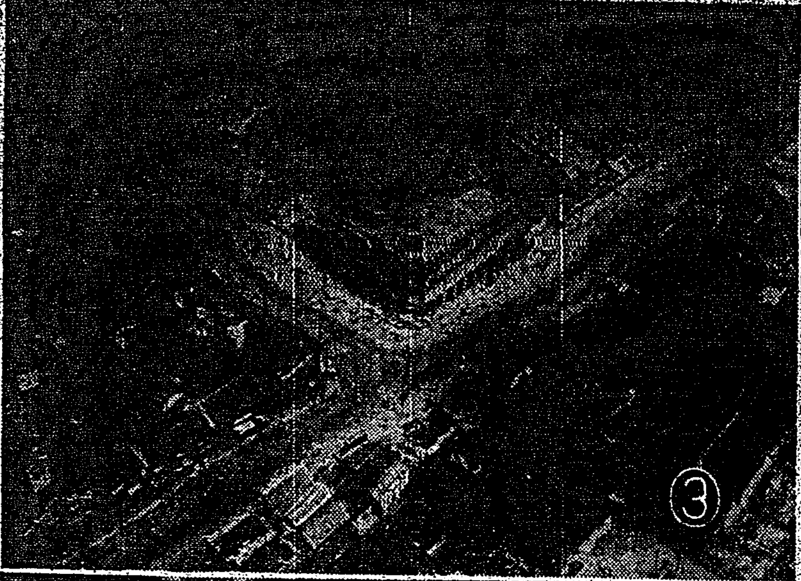
株式　期米
臺北市京町二ノ二五
丸德商店
電四五六七番

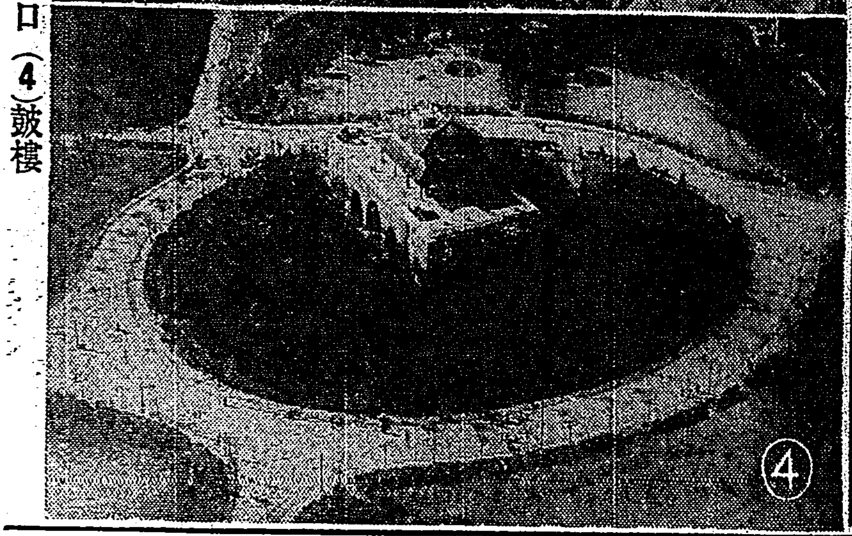
空から見た南京

（1）明孝陵（2）中山陵（3）白下路口（4）鼓樓


①


②


③


④

臨時增刊 特價八十錢

改造

南方支那號

支那援助に狂奔する英國の極東策源地香港を衝く

英國を衝く　鹿島守之助　今井登志喜　緒方昇　木下半治

長期抗戰の現實的基礎…稻村隆一

事變と香港（中心支那沿岸航路）…勝沼敏行

香港の爲替及金融の現況…中野香藏

白崇禧と李宗仁…神田正雄

第三國の調停は可能か…金田豐彥

支那は喘ぐ（グラビア）

南京は何時陷るか……志村冬雄

蔣介石を訪ふ…郭沫若

（事變を香港より觀る座談會）

廣東革命餘話・井上謙吉

香港・廣東畫信・古城江觀

上海壞滅後の國民政府の行衛・田中香苗

至難なる北支農村對策・安田藤吉郎

蒙古行…杉山平助

バイアスの海賊・由夏殿三

臺灣と南支那・龍瑛宗

聖カテリーヌ橋畔にて・A・L・P

日本經濟の動向とその指導政策・鄉誠之助

琉球を繞る日支關係史譚……宮城聰

佛領印度…江藤豐二

支那見聞記

杭州灣從軍記・平田晋三郎

戰後の上海・水島治男

蘇州素描・市川修三

急追四日・鮎川堯

支那の城・郭の話・加藤繁

廣東人…村松梢風

南支點描…橋本關雪

上海皇軍慰問行…細迫兼光

危局人物典型…佐々弘雄

近衞內閣は何故弱いか…山浦貫一

南方支那語…曹欽源

敗戰と支那の經濟體制…濱田峯太郎

第八路軍の全貌…（改編された支那赤軍、即ち問題の第八路軍とは？いまその全貌が闡明された）張國平

香港戰時色……大宅壯一

重慶を目指して……後藤朝太郎

南市から城內へ……內山完造

支那海往復記　高田保

▲支那に於ける列國の文化事業……鈴木賢祐

▲漢奸狩り下の福州脫出記……富田千歲

戰線スケッチ　淸水登之

北支に於ける文化事業　新城新藏

小說　攻城戰　村山知義

廈門のはなし……佐藤春夫

讀物　南支那海…林房雄

香港で劃策する英國・杉下喬

英國の新對支經濟政策…平尾則人

砲煙下の在支歐米人…パアル・バック

租界をどう處理する……米村耿二

汕頭・廈門・福州……加藤松次

◆延安の印象……李初黎

◆長江短話　木村毅

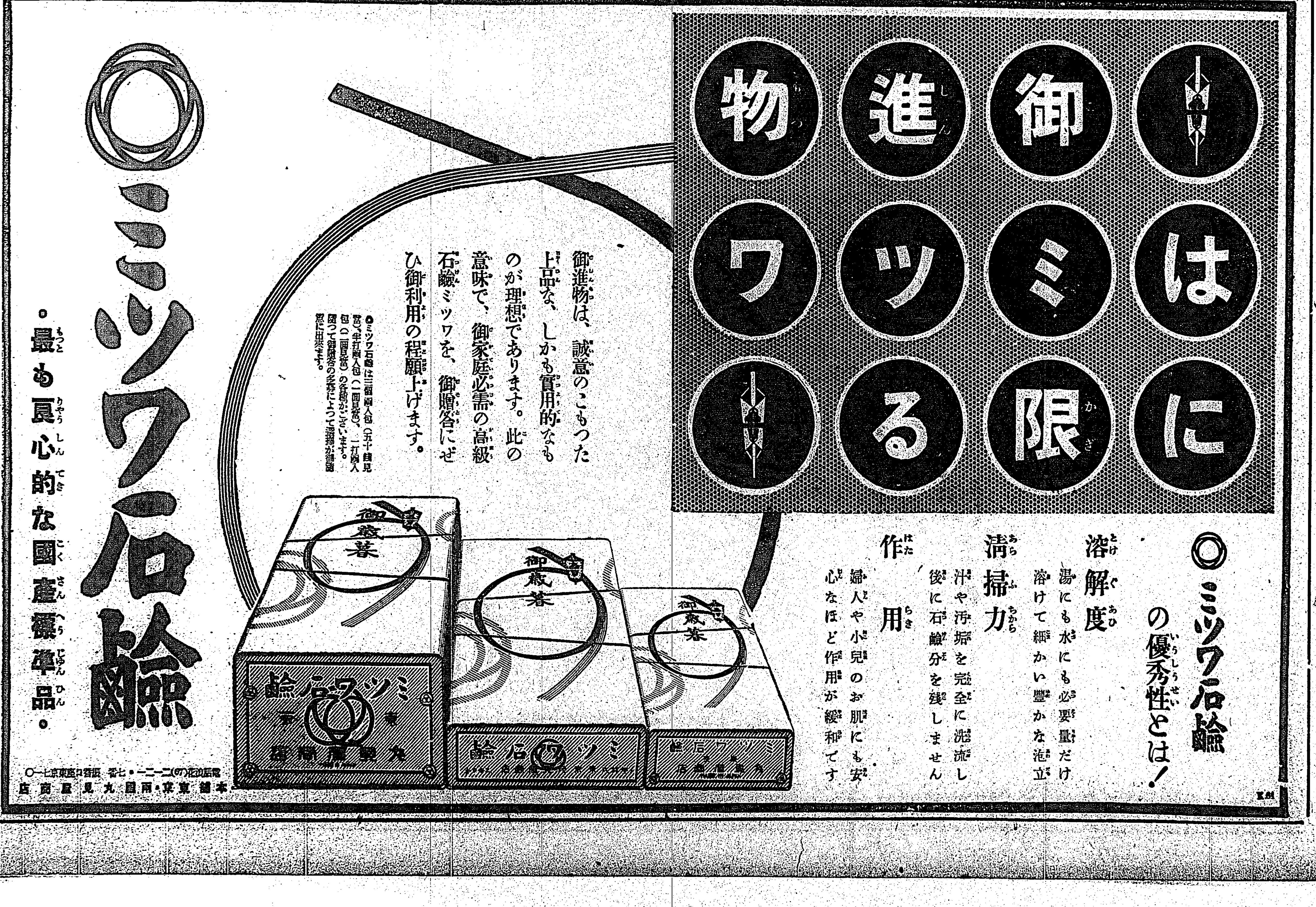
（送料四錢）東京市芝區新〇七丁目　振替東京八四〇二　改造社

興亡の支那を凝視めて　山本實彥

（事變背後の魔都香港に乘込み英國策動の正體を衝き事變の前途を深思した堂々百枚の[illegible]）

臺灣六法　定價四圓也　送料三八錢

發行所　臺灣日日新報社商事課



御進物はミツワに限る

御進物は、誠意のこもつた上品な、しかも實用的なものが理想であります。此の意味で、御家庭必需の高級石鹼ミツワを、御贈答にぜひ御利用の程願上げます。

●ミツワ石鹼は三個箱入包（五十錢見當）、半打箱入包（一圓見當）、一打箱入包（二圓見當）の各種がございます。從って御贈答の多寡によって選擇が御自由に出來ます。

ミツワ石鹼の優秀性とは！

溶解度　湯にも水にも必要量だけ溶けて細かい豐かな泡立

清掃力　汁や汚垢を完全に洗流し後に石鹼分を殘しません

作用　婦人や小兒のお肌にも安心なほど作用が緩和です

ミツワ石鹼

・最も良心的な國產標準品・

電話浪花(67)二一二一・七番　振替口座東京一七一〇

本舖東京・兩國　丸見屋商店
御歲暮
ミツワ石鹼
丸見屋商店